

平成23年度

福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2011

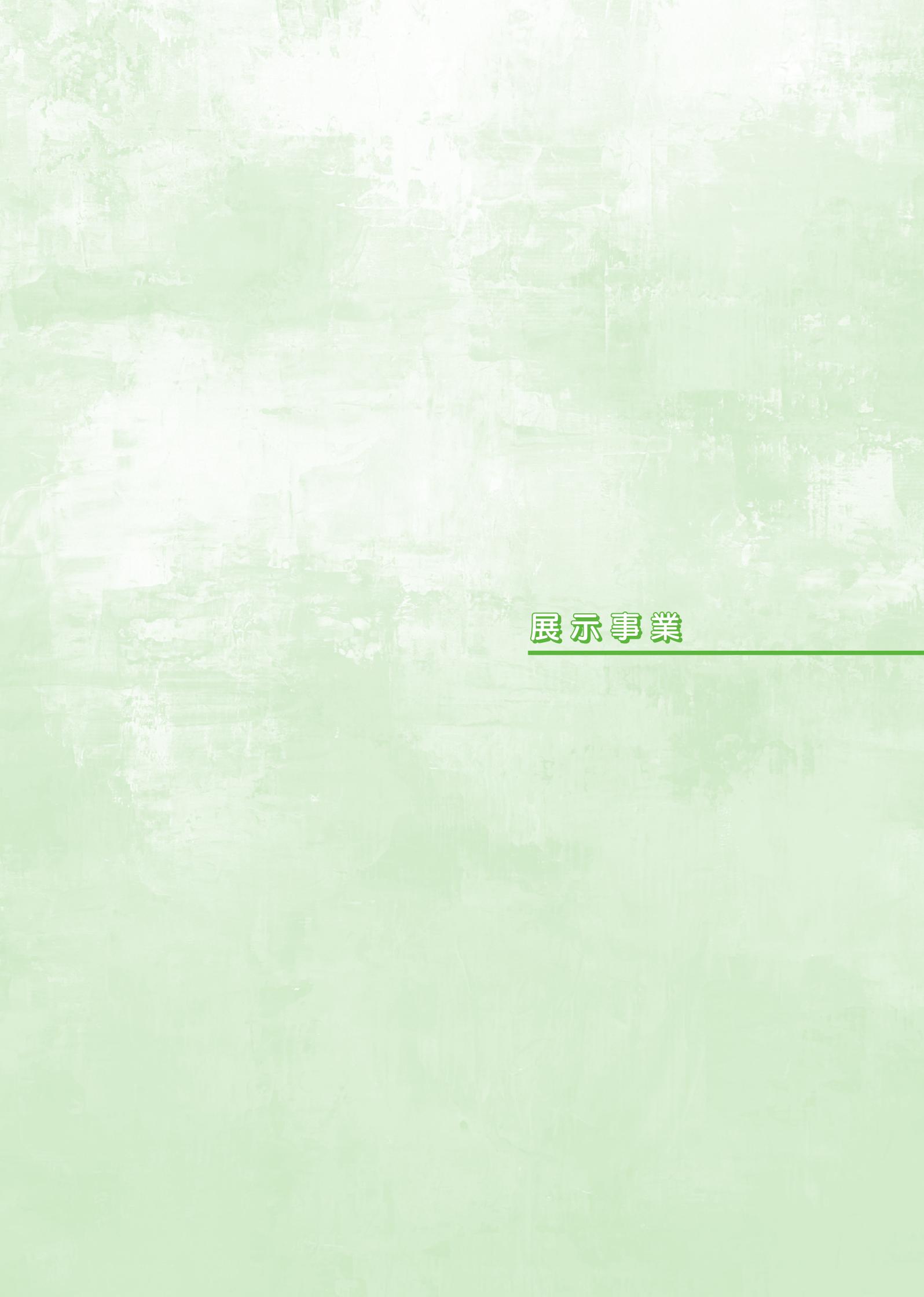
平成23年度

福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2011

目次

■ 展示事業	
1 特別企画展	04
2 小企画展	08
3 コレクション展	09
■ 交流事業	
1 美術交流事業	12
2 教育普及事業	17
3 ミュージアム施策事業	18
4 ボランティア活動	19
5 広報活動	22
■ 所蔵作品	
1 新所蔵作品	24
2 貸出一覧	29
3 修復一覧	33
4 画像掲載一覧	34
■ 入館者数	36
■ 活動記録	40
■ 概要	
1 基本理念	42
2 活動内容	43
3 施設概要	44
4 沿革	48
■ 名簿	49



展示事業

NTT西日本スペシャル
「おいでよ！絵本ミュージアム2011 一偕成社がおくるワンダーランド」



会 期 2011年7月29日(金)～8月21日(日)
 会 場 企画ギャラリー、彫刻ラウンジ、あじびホール
 主 催 福岡アジア美術館、西日本新聞社、NPO法人子ども文化コミュニティ、テレビ西日本
 特別協賛 NTT西日本
 協 力 偕成社、ホテルオークラ福岡、環境デザイン機構、エフコープ生活協同組合、子どもの本専門店エルマー
 後 援 福岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、(財)福岡市文化芸術振興財団、TNCテレビ西日本、TVQ九州放送、福岡県私立幼稚園振興協会、福岡県公立幼稚園協会、福岡県PTA連合会、福岡市PTA協議会、福岡県子ども会育成連合会、福岡県教職員互助会、西日本鉄道、九州旅客鉄道、西日本リビング新聞社、cross fm、FM福岡、Love FM
 開催日数 24日
 観覧者数 48,509人

夏休みの特別企画として毎年好評を博している「絵本ミュージアム」の5回目を開催した。

今回は、特に、1936年の創業以来、子どもの出版を続けてきた偕成社を特集。エリック・カールなど世界的に活躍する国内外の絵本作家の絵本から児童書まで、多くの親子に愛され、子どもたちに夢と希望を与えてきた数々の作品を紹介。絵本の世界を再現したような空間では、色彩や造形を体感しながら約1000冊の絵本と児童書にふれることができたほか、貴重な原画も展示した。また、ラウンジやロビー、ホールではワークショップやイベント、講演会、読み聞かせなどを日々開催した。さらに、先端のデジタル技術を活用した展示で、新しい時代の絵本や離れていてもコミュニケーションできることの楽しさを体感できる展示も行った。

ポスター B2 マツダヒロチカ(デザイン)／西日本新聞印刷(印刷)
 チラシ A3 マツダヒロチカ(デザイン)／西日本新聞印刷(印刷)

- 関連事業
- イベント
 つくろう絵本ミュージアム
 「みんなでつくろう！100かいだてのいえ」
 講師：岩井俊雄(絵本作家／メディアアーティスト)
 日時：7月3日(日)13:00-15:00
 場所：彫刻ラウンジ
 - イベント
 つくろう絵本ミュージアム
 「エリック・カールおじさんになろう！～きよだいな きよだいな いろがみづくり～」
 講師：子ども文化コミュニティ
 日時：7月10日(日)13:00-
 場所：彫刻ラウンジ
 - オープニングスペシャルイベント
 「いわいとしおライブショー」
 日時：7月29日(金)11:00-11:30
 出演：岩井俊雄(絵本作家／メディアアーティスト)、ノントン(着ぐるみ)
 場所：彫刻ラウンジ
 - オープニングスペシャルイベント
 「100年間読まれる本をつくりたい」
 今村正樹講演会
 講師：今村正樹(偕成社代表取締役社長)
 日時：7月29日(金)14:00-15:00
 場所：あじびホール
 - オープニングスペシャルイベント
 「絵本でテレビやゲームを超える」岩井俊雄講演会
 講師：岩井俊雄(絵本作家／メディアアーティスト)
 日時：7月30日(土)13:00-15:00
 場所：あじびホール
 - ワークショップ
 「世界で1冊のオリジナル絵本をつくろう！ピッケのつくるえほん」
 講師：朝倉民枝(クリエイター)
 日時：7月31日(日)13:00-15:00
 8月1日(月)13:00-15:00
 場所：情報コーナー
 - ワークショップ「ビスケットで絵本をつくろう」
 講師：子ども文化コミュニティ・ワークショップファシリテーター
 日時：8月2日(火)～11日(木)13:00-16:00
 場所：情報コーナー
 - はたこうしろう ワークショップ
 講師：はたこうしろう(絵本作家)
 日時：8月6日(土)13:00-15:00
 8月7日(日)13:00-15:00
 場所：彫刻ラウンジ

□対談「おれたち、ともだちシリーズのひ・み・つ」

講師：降矢なな(絵本作家) &
内田麟太郎(絵本作家)

日時：8月13日(土)13:00-15:00

場所：あじびホール

□荒井良二ワークショップ

講師：荒井良二(絵本作家)

日時：8月14日(日)13:00-15:00

場所：彫刻ラウンジ

□もくねんさん(おがくずでできた粘土で工作教室)

提供：エフコープ生協

日時：8月16日(火)、17日(水)、18日(木)、19日(金)
10:00-17:00

場所：彫刻ラウンジ

□絵本ワークショップ

講師：子ども文化コミュニティ・ワークショップ
ファシリテーター

日時：7月30日(土)～5日(金)

8月8日(月)～13日(土)、8月15日(月)、

20日(土)、21日(日)

1日3回 11:00-12:00、13:30-14:30、

15:00-16:00

場所：彫刻ラウンジ、情報コーナー

□絵本のよみきかせ

日時：会期中毎日

場所：M7ラウンジ

□NTTグループブース

日時：7月29日(金)～8月21日(日)

場所：彫刻ラウンジ

□ワークショップ

「エリック・カールおじさんになろう」

講師：子ども文化コミュニティ・ワークショップ
ファシリテーター

日時：会期中毎日

場所：彫刻ラウンジ

関連記事

2011. 7. 5 西日本新聞(朝)「100かいだてのいえ 子どもたちが描く アジア美術館」

2011. 7.21 西日本新聞(夕)「人気作家の児童書大集合 おいでよ! 絵本ミュージアム」

2011. 7.30 西日本新聞(朝)「超短波」

2011. 8. 4 西日本新聞(朝)「おはなしの世界へ 絵本ミュージアムから④ 『はらべ
こおおむし』 希望の種を抱いて」

2011. 8. 5 西日本新聞(朝)「おはなしの世界へ 絵本ミュージアムから④ 『ノンタ
ン』 やんちゃさが魅力」

2011. 8. 6 西日本新聞(朝)「おはなしの世界へ 絵本ミュージアムから⑤ 『100か
いだてのいえ』 物語の高み目指し」

2011. 8.10 西日本新聞(朝)「本社の事業 子どもたちの心を豊かに」

2011. 8.11 西日本新聞(朝)大田精一郎「おはなしに飛び込もう」

2011. 8.13 西日本新聞(夕)「遊ぼう、おはなしの世界」

2011. 8.18 西日本新聞(朝)「絵本ミュージアム 入場者3万人突破 江崎さん親子
に記念品」

2011. 8.19 朝日新聞(朝)「『創作たのしいよ!』ワークショップ 絵本作家の荒井さん」

2011. 8.21 西日本新聞(朝)「こどもふれあい新聞」絵本「ともだち」の創作裏話
作家と画家が対談 二人三脚 広がる物語」

魅せられて、インド。——日本のアーティスト／コレクターの眼



会 期 2012年1月21日(土)~2012年3月11日(日)
 会 場 企画ギャラリー
 主 催 福岡アジア美術館、西日本新聞社、テレビ西日本
 後 援 駐日インド大使館、公益財団法人 日印協会
 助 成 芸術文化振興基金
 開 催 日 数 44日間
 観 覧 者 数 8,592人
 出 品 点 数 約1000点

インドと日本との間では、近代以降、宗教、思想、文化、芸術など、実に広いジャンルにおいて交流がなされてきた。1964年に個人の海外渡航が自由化されると、多くの若者が日本を脱してインドへ旅するようになり、それ以降現在まで、さまざまな視点で「混沌のインド」に向き合ってきた。そして、近年では、新興経済国としてのインドに高い関心が集まっている。

本展は、戦後の日本とインドの交流のなかで、日本にさまざまな形で積み重ねられた「インド」を多彩な作品/コレクションで紹介することにより、日本におけるインドのイメージがどのように形成されてきたか、またそれが現代の日本文化にどのような影響を与えたのかを明らかにしようとした展覧会である。

第一部「アーティストが見たインド」では、戦後の日本のアーティストによるインドをテーマとした表現に焦点をあてた。特に1960年代以降、インドの文化や精神世界へのあこがれが広く見られたことをふまえ、絵画、写真、デザイン、映像など広い視覚表現の諸分野で、日本のアーティストを魅了してきたインドの美意識や造形がどのようなものであり、またそれが日本でどう展開されたのかを探った。続

く第二部「インドを集めたコレクターたち」では、日本の個人コレクターが、独自の美意識やこだわりによって蒐集してきた知られざるコレクション——絵画、印刷物、染織、切手など——これまで一般公開されることのなかったコレクションを紹介した。

ポ ス タ ー B2 マツダヒロチカ(デザイン)／
 秀巧社印刷株式会社(印刷)
 チ ラ シ A4 マツダヒロチカ(デザイン)／
 秀巧社印刷株式会社(印刷)
 図 録 A4変形 マツダヒロチカ(デザイン)／
 秀巧社印刷株式会社(印刷)

- 関 連 事 業
- 講演会「『河童が覗いたインド』を語る」
 講師：妹尾河童(舞台美術家、エッセイスト)
 日時：2月11日(土)14:00-15:30
 場所：あじびホール
 - 講演会「日本にやってきたインド映画～85年の歩みと広がり」
 講師：松岡環(アジア映画研究者、字幕翻訳者)
 日時：2月12日(日)14:00-15:30
 場所：あじびホール
 - 「絵本で聞くインドの民話」
 話し手：当館ボランティア
 日時：1月22日(日)、2月19日(日)、3月4日(日)
 14:00-14:30
 場所：展覧会会場内
 - ハリウッド映画上映会「チャンドニー・チョーク・トゥー・チャイナ」
 内容：チャンドニー・チョーク・トゥー・チャイナ
 (2009年、155分、ワーナーブラザーズ)※DVD上映
 監督：ニキル・アドヴァーニー
 キャスト：アクシャイ・クマール、ディーピカー・パードゥコーン
 字幕：松岡環
 日時：3月4日(日)13:30-16:05
 場所：あじびホール
 - クロージングイベント「お米で描くインドのワルリー画 トーク／公開制作ワークショップ」
 講師：長谷川時夫(ミティラー美術館館長)
 デウー、ゴルカナ(ミティラー画家)
 日時：3月11日(日)13:00-16:00
 場所：彫刻ラウンジ
- 連携事業ほか
- 「インド映画特集」
 日時：2月1日(水)～2月25日(土)
 場所：福岡市総合図書館映像ホール シネラ
 - ミュージアム・ショップ アペロッサ
 特設コーナーで特別グッズを販売。
 - FAAMカフェ
 期間限定メニュー「インド・セット」(カレー、ナンなど)を提供。

関連記事

- 2011.12.25 『福岡市文化芸術振興財団機関誌Wa』(No.52)五十嵐理奈「おしゃべりな学芸員」
- 2012. 1.14 『アジア映画巡礼』ブログサイト「魅せられて、インド。」@アジ美
(<http://blog.goo.ne.jp/cinemaasia/e/271bce75e97ab04e9bc730845ecbc1>)
- 2012. 1.14 西日本新聞(夕)「悠久の歴史 魅惑の美術品」
- 2012. 1.14 『ナマステ・ポリウッド』(No.31)グレゴリ青山「もうすぐ アジ美の魅せられて、インド。展」
- 2012. 1.21 新美術新聞 黒田雷児「通信アジアへ J to A <30> インドにはまった日本人、集まれ！」
- 2012. 1.21 『ナマステ・ポリウッド』ウェブ版「1/21～3/11「インドに魅せられて。」展@福岡アジア美術館開催」
(<http://www.namaste-bollywood.com/info/12572.html>)
- 2012. 1.22 西日本新聞(朝)「魅せられてインド展開幕 福岡アジア美術館」
- 2012. 1.25 西日本新聞(朝)「特別展「魅せられて、インド。」奥深い文化紹介」
- 2012. 1.25 西日本新聞(朝)「アジア美術館300万人 文化発信に成果、集客課題 開館13年」
- 2012. 1.27 毎日新聞(朝)中曽根香「魅せられて300万人 観覧者数が突破」
- 2012. 2. 1 新美術新聞 五十嵐理奈「北から南 museum74 インドを蒐集した人を、蒐集する」
- 2012. 2. 2 朝日新聞(朝)西正之「イイかも！ こった煮惑の文化に奥深さ」
- 2012. 2. 7 西日本新聞(朝)五十嵐理奈「魅せられてインド アーティスト・コレクターの眼① グレゴリ青山「グレゴリ堂ポリウッド本店」こだわりと美意識」
- 2012. 2. 8 西日本新聞(朝)黒田雷児「魅せられてインド アーティスト・コレクターの眼② 横尾忠則「悠久の愛」聖と俗わがものに」
- 2012. 2. 9 西日本新聞(朝)中尾智路「魅せられてインド アーティスト・コレクターの眼③ マッチラベル単純化に味わいが」
- 2012. 2.11 西日本新聞(朝) 五十嵐理奈「魅せられてインド アーティスト・コレクターの眼④ 島中光亨コレクションものへのいとしさ」
- 2012. 2.12 西日本新聞(朝)「河童さん、インドを語る 福岡市で講演」
- 2012. 2.14 西日本新聞(朝)五十嵐理奈「魅せられてインド アーティスト・コレクターの眼⑤ ガネーシャ神 富と成功もたらず」
- 2012. 2.15 『artscape』山口洋三「学芸員レポート 魅せられて、インド。」
(http://artscape.jp/report/curator/10021520_1634.html)
- 2012. 2.16 佐賀新聞 宮崎勝「ふくおかスポット 日本の作家、収集家通して紹介」
- 2012. 2.21 新美術新聞 黒田雷児「通信アジアへ J to A<31> キッチン語りて美術人を戦慄せしめよ！」
- 2012. 2.22 『天神サイト』「まだ見てない？いやいや「魅せられて、インド。」展はホントに必見なんだから！」
(<http://tenjinsite.jp/topics/detail.php?hid=31478>)
- 2012. 3. 6 朝日新聞(朝)井口恵理「インドの魅力 見て感じてコレクター収集品など1000点展示」
- 2012. 4.18 『バーチャル・ミュージアム：マッチの世界』加藤豊「コラム：インド向け輸出マッチ」
(<http://www.match.or.jp/column/column12.html>)

2012. 5. 1 『郵趣』(364号)黒崎卓「魅せられて、インド。」展開催報告」p.44

外国語記事

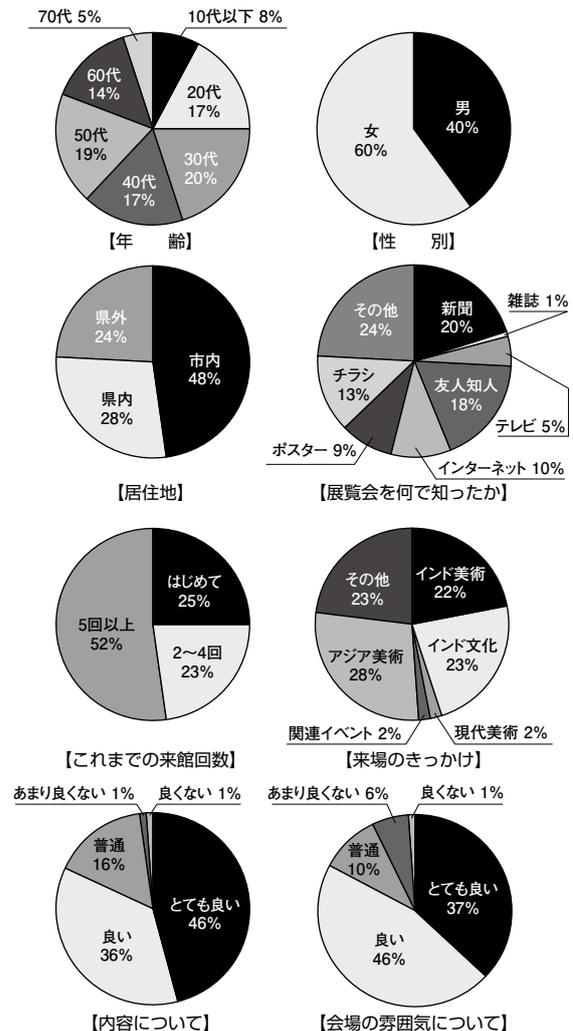
- 2012. 2. 7 劉映汝「魅惑天竺、當代日本の印度印象」MOT/TIMES
(http://www.mottimes.com/cht/news_detail.php?serial=284)[台湾・中国語]
- 2012. 2 Lauren Every-Wortman, "Collecting India", *the refill*, No.8, February/March 2012, p.8-9
(<http://issuu.com/therefill/docs/therefill8?mode=window&pageNumber=1>)[日本・英語]

関連放送

- 2012. 1.26 FM長崎「Lai Lai～来来～」
- 2012. 2.29 TNC放送「マニアマニエラ 特集/魅せられて、インド。」

アンケート調査

(回答者338名)



近代美術シリーズⅥ
郎静山の写真－構成された伝統



会 期 2011年10月13日(木)～12月13日(火)
 会 場 アジアギャラリー B
 主 催 福岡アジア美術館
 開 催 日 数 53日
 観 覧 者 数 8,982人
 出 品 点 数 54点

アジア各地で近代美術への道を切り開いた個人・グループを紹介するシリーズの第6回展として、主に上海と台北で活動した写真家・郎静山[ロン・ジンサン](1892～1995)を、日本で初めて本格的に紹介した。郎は、1930年代の上海時代から、山・樹木・人物・動物などを個別に撮影したネガをひとつの画面にプリントするフォト・モンタージュ(集錦)技法によって、自然と人間が一体となった理想的な風景の写真を制作し、中国文化圏を代表する写真家として高い評価を受け、1949年に台北に渡った後も世界各地で発表を続けた。

通常のドキュメンタリー写真とは異なる、中国的ビクトリアリズムといえる郎の写真は、深い精神性とすぐれた造形性によって、今もなお新鮮な驚きと感動を与える。また彼の作品は、写真という現代的な技術を用いながらも丹念な暗室作業によって伝統的な中国絵画の美学を現代によみがえらせたことにより、「伝統美術の現代的な再生」というアジア美術に広く見られる問題を考える契機となった。

図 録 A4変形 ワーロック[栗田卓哉](デザイン)／福博総合印刷株式会社(印刷)
 ポ ス タ ー B2 ワーロック[栗田卓哉](デザイン)／福博総合印刷株式会社(印刷)
 チ ラ シ A4変形 ワーロック[栗田卓哉](デザイン)／福博総合印刷株式会社(印刷)

関 連 事 業 □講演会「郎静山～人と作品」
 講師：郎毓文[ロン・ユーウェン](郎静山の娘、郎静山藝術文化発展学会)
 日時：10月15日(土)14:00-16:00
 場所：あじびホール
 □講演会「芸術としての写真～写真史からみる郎静山」
 講師：大島洋(九州産業大学教授、写真家・評論家)
 日時：11月6日(日)14:00-16:00
 場所：あじびホール
 □学芸員によるギャラリートーク
 解説：黒田雷児
 日時：10月23日(日)、11月12日(土)、11月26日(土) 14:00-14:40
 場所：アジアギャラリーB

関連記事

2011. 10.21 新美術新聞 通信アジアへ J to A<27> 黒田雷児「よみがえる郎静山—ヴァーチャル・チャイナ」
2011. 11.11 新美術新聞「郎静山の写真—構成された伝統」
2011. 11.22 読売新聞(夕)「水墨画のような写真 郎静山 福岡で回顧展」
2011. 12.08 西日本新聞(朝)藤原賢吾「展覧会 荒波に抗し伝統追及」
2012. 01 「BT美術手帖」(vol.64 No.962)呉孟晋「『構成された』現代の文人『郎静山の写真』展」p.254-255

外国語記事

2011. 10.15 中央日報「台湾/北美館郎静山經典攝影作品 日本福岡亞洲美術館展出」(http://www.cdnews.com.tw/cdnews_site/docDetail.jsp?coluid=121&docid=101694749) [台湾・中国語]
2011. 11.11 当代芸術新聞「日本福岡亞洲美術館展出郎静山攝影」(No.82)p.68 [台湾・中国語]
2012. 5 Kure Motoyuki, "Long Chinsan's Photographs: Composite Tradition," *Bijutsu Techo* (English Version), Spring 2012, Vol. 02, p.19-20 [日本・英語]

展示事業

3 コレクション展

アジアギャラリーでは、所蔵品により、アジア美術の近代から現代への流れがわかるように展示を行った。その中で、2本の特設コーナーを設置し、2～3ヶ月ごとにテーマ展示を行った。平成23年度の特設コーナーで開催した展覧会は下記のとおりである。

■アジアギャラリー A

草原の国から—モンゴルの光と影

2011年3月31日(木)～6月28日(火)

モンゴルの美術作品の多くには、雄大な自然と自然がもつ神秘的な力が表現されている。一方で、社会主義の理想や90年代以降の都市化がもたらした問題など、モンゴルの複雑な歴史も投影されている。かつては社会主義国として近代化を目指したモンゴルの光と影を映す、1960年代から現代までの絵画20点を紹介した。

関連放送

2011. 5. 8 読売新聞 清島愛「モンゴルテーマ 貴重な絵画展示 福岡アジア美術館」

あじびのファッション大図鑑

2011年6月30日(木)～9月27日(火)

ファッションに関心を抱いた26点の現代作品で「ファッション・ショー」のような空間を構成した。アジアの作家の斬新なファッション・センスだけでなく、背景となる思想や社会の現実にも焦点をあてた。またアジア各地の伝統衣装を試着できるコーナーを設けた。

白と黒がつくる世界

2011年9月29日(木)～12月25日(日)

数ある色の中で作者があえて白と黒を選ぶとき、そこにはどんな意図がこめられているのだろうか。水墨、油彩、鉛筆、木版、写真、映像など、白と黒を基調とした作品30点で、シンプルなようで実は多彩な白と黒の世界を紹介した。

キラキラ☆チカチカー光のアート

2012年1月2日(月)～4月3日(火)

「光」をどう可視化するのか、あるいは「光」の効果をどのように作品に取り込むのかは、いつの時代もアーティストにとって大きな関心事となってきた。電飾やライトボックスなど人工的な光を直接的に利用したものから、絵画や映像メディアを通して光そのものに着目した作品など14点を紹介した。

■アジアギャラリーB

アジアの「夢十夜」

2011年3月24日(木)～7月5日(火)

目を閉じて、空想の世界をたどよう夢。願ってもかなわぬ夢。いまここにはないものを求めて夢見る力が、幻想的な風景や姿、そして先の見えない不安や現実を描き出してきた。夢をキーワードに、主に現代のアジア各地で描かれた絵画、写真、版画、映像など26点を紹介した。

飛びたい！－自由な大空へ

2011年7月7日(木)～10月11日(火)

ひとは、昔から物理的にも精神的にも「飛びたい！」と願ってきた。その願望が、翼をもつ聖獣や天使、羽衣をまとう天女の神話を、そして飛行機や気球を生み出してきた。翼をもつ鳥から飛びたい願いの表現まで、様々な「飛ぶ」イメージを37点の作品で紹介した。

南アジアの現代美術

－ネットワークから世界へ

2011年12月15日(木)～2012年3月27日(火)

90年代後半から、南アジア各地でアーティスト主体の非営利団体が次々と誕生し、それらの交流が、この地域のアートが世界から注目をあつめる原動力を生み出してきた。各団体の主要メンバーや参加アーティストによる作品30点を関連資料とあわせて紹介し、南アジア特有のアート・ネットワークに光をあてた。

特別展示

韓国ビデオ・アート

2011年9月1日(木)～12月25日(日)

本展では、韓国の作家が福岡に滞在して制作した映像作品や、「福岡アジア美術トリエンナーレ」の出品作品など、ここ10年の韓国のビデオ・アートを10点の作品で特集した。また、釜山の作家による映像作品1点も、釜山市立美術館から借用して展示。2008年に相互協力提携を結んだ釜山市立美術館との交流活動の一環として開催した。

交流事業

本事業は、アジア各地で活躍する美術作家や研究者・学芸員等を福岡に招聘し、様々な美術交流事業を行うことで、市民がアジアの美術・文化に対する興味を高め、理解を深める一助となることを目指すとともに、アジア美術を取り巻く状況の活性化を目的としている。

美術作家招聘事業



ジュピター・プラダン
(ネパール)

1977年生まれ
カトマンズ(ネパール)在住

滞在期間
2011年6月23日～8月31日

□主な活動

①作品制作

ネパールと福岡の文化や祭りをテーマに、平面、立体、映像、陶芸など、さまざまな要素を融合させた作品「私！がいる場所」を制作した。

②ワークショップ

●7月26日

「ネパールの神様の仮面制作」
(ママと子どものアートじかん)
参加者：親子10組

場 所：交流ギャラリー

●7月30日

「ミティラー画の制作」
参加者：大分市および豊後大野市の中学生15人
場 所：交流スタジオ

●8月22日

「ネパールの神様の仮面制作」
参加者：三筑中学校、東光中学校美術部19人
場 所：交流スタジオ

③トーク

●6月25日

「アーティスト・トーク&キュレーター・トーク@福岡アジア美術館」

参加者：一般52人

場 所：交流スタジオ

●6月30日

参加者：福重小学校4年生78人

場 所：交流スタジオ

●7月7日

参加者：原北中学校1年生229人

場 所：交流スタジオ

④展覧会

●8月25日～9月13日

「第11回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1」

展示場所：7階ロビー

⑤パフォーマンス

●8月25日

参加者：一般71人

場 所：7階ロビー





グエン・フォン・リン
(ベトナム)

1985年生まれ
ハノイ(ベトナム)在住

滞在期間
2011年9月6日～11月15日

□主な活動

①作品制作

福岡の人々や場所を取材し、そこから採取したホコリと写真で構成したインスタレーション「ホコリ・プロジェクト」と、福岡県朝倉市で採れた石の粉を使った風景のインスタレーション「ストーンスクープ」を制作した。

②ワークショップ

「I carry a piece of you (つたえて、つなげて)」

●9月17日

参加者:朝倉市の高校生3人

場 所:交流スタジオ

●10月29日

参加者:古賀市立古賀東中学校美術部11人

場 所:交流スタジオ

③トーク

●9月18日

「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定」

参加者:一般51人

場 所:交流スタジオ

●11月7日

トーク&パネルディスカッション「自然と科学」

参加者:春日市立春日北中学校3年生127人

場 所:春日市立春日北中学校

●11月12日

「第11回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」ギャラリー・トーク

参加者:一般55人

場 所:交流ギャラリー

④展覧会

●11月12日～27日

「第11回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」

観覧者:1,315人

場 所:交流ギャラリー

⑤地域交流イベント

●10月22日

「博多リバレイン灯明」

場 所:博多リバレイン フェスタスクエア、アトリウムガーデン

関連記事

2012. 5 『翼の王国』No. 515 桜木奈央子「アジアシティ・フクオカ フクオカ、アジア文化探訪記」





ルー・ヤン／陸揚
(中国)

1984年生まれ
上海(中国)在住

滞在期間
2011年9月7日～11月15日

□主な活動

①作品制作

福岡の生物学や音響の専門家とコラボレーションを行い、カエルの座骨神経に電流を流し、音楽に合わせて水中でカエルが踊る映像作品「復活！水中カエルゾンビバレエ」を制作した。

②ワークショップ

「LEDでアクセサリを作ろう！」

●10月14日

参加者：有田小学校3年生100人

場 所：彫刻ラウンジ

●10月26日

(とびだせ！アジア美術館事業)

参加者：生の松原特別支援学校中等部2年生37人

場 所：生の松原特別支援学校

③トーク

●9月18日

「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定」

参加者：一般51人

場 所：交流スタジオ

●11月7日

トーク&パネルディスカッション「自然と科学」

参加者：春日市立春日北中学校3年生127人

場 所：春日市立春日北中学校

●11月12日

「第11回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」ギャラリー・トーク

参加者：一般58人

④展覧会

●11月12日～27日

「第11回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」

観覧者：1,315人

場 所：交流ギャラリー

⑤地域交流イベント

●10月22日

「博多リバレイン灯明」

場 所：ホテルオークラ福岡壁面

関連記事

2012. 5 『翼の王国』No. 515 桜木奈央子「アジアシティ・フクオカ フクオカ、アジア文化探訪記」



研究者・学芸員等招聘事業



スプサン・サンワチラピバン
(タイ)

1980年生まれ
バンコク(タイ)在住

滞在期間
2012年2月20日～3月27日

□主な活動

①調査・研究

当館が所蔵する映像資料等に基づき、東南アジアの映像作家たちの作品を研究した。また、当館の事業や現代美術における障がいのイメージについても調査した。

②教育プログラム

・トーク

●3月2日

「タイの暮らしと文化について」

参加者:大名小学校、舞鶴小学校、箕子小学校3年生68人

場 所:あじびホール

・講演会

●3月25日

「あじび美術講座2012 東南アジアのメディア・アート」

参加者:一般35人

場 所:あじびホール

関連記事

2012. 3.25 西日本新聞(朝) きょうメディア・アート講座 動画で
現代社会に警鐘 タイの研究者講演



他の機関から助成等を受けて自費で福岡に滞在し、作品制作や調査・研究を行うことを希望するアジアの美術作家やアジア美術の研究者・学芸員に対して、制作や調査・研究活動を支援した。



セン・ユジン
(シンガポール)

1979年生まれ
シンガポール在住

滞在期間

2011年6月16日～8月9日

国際交流基金「JENESYS Programme: 東アジアクリエイター招へいプログラム」で来日。シンガポール国立美術ギャラリーのキュレーターとして当館の展覧会事業等について調査・研究した。

□主な活動

・トーク

- 6月25日
「アーティスト・トーク&キュレーター・トーク@福岡アジア美術館」
参加者:一般52人
場 所:交流スタジオ

・コロキウム

- 7月30日
「インドネシア美術の20世紀―“麗しの東インド”を越えて」
(第27回アジア近代美術研究会)
参加者:一般43人
場 所:あじびホール



チャン・イーシュアン／張奕璇
(台湾)

1986年生まれ
台北(台湾)在住

滞在期間

2011年9月2日～11月30日

台湾現代芸術基金会からの助成で来日。当館の招聘事業、展覧会事業等について研修した。

□主な活動

・トーク

- 「台湾の暮らしと切り絵」
- 10月28日
参加者:当仁小学校2年生98人
場 所:あじびホール
- 11月17日
参加者:香住ヶ丘小学校5年生132人
場 所:あじびホール



リン・ピンチュン／林品君
(台湾)

1977年生まれ
台北(台湾)在住

滞在期間

2011年9月1日～11月18日

台湾現代芸術基金会からの助成で来日。アートの企画運営や九州地域の芸術活動について調査・研究を行うほか「まちなかアートギャラリー福岡」の運営補助を行った。

□主な活動

・トーク

- 9月18日
「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定」
参加者:一般42人
場 所:交流スタジオ
- 11月12日
「日常美術館～福岡滞在『街とアート』観察ノート」ギャラリー・トーク
参加者:一般42人
場 所:ラウンジM8

・展覧会

- 11月12日(土)～11月27日(日)
「日常美術館～福岡滞在『街とアート』観察ノート」
場 所:ラウンジM8



ナー・ヨンエン
(シンガポール)

1986年生まれ
シンガポール在住

滞在期間

2011年11月8日～12月10日

2011年に開催された「第30回大華銀行全国絵画展」のプラチナ賞受賞者で、同展の助成を受けて来日。福岡の様々な場所の光とリズムに焦点をあてた、写真作品3点(21枚)、絵画5点を制作した。

□主な活動

・トーク

- 12月8日
「ナー・ヨンエン滞在制作展」ギャラリー・トーク
参加者:一般19人
場 所:7階ロビー、ラウンジM8

・展覧会

- 12月8日～25日
「ナー・ヨンエン滞在制作展 どこかへ、もっとどこかへ」
場 所:7階ロビー、ラウンジM8

教育普及事業

1 体験学習、博物館実習等

総合的な学習の時間

大名小学校	9人 (3月2日)
舞鶴小学校	27人 (3月2日)
箕子小学校	28人 (3月2日)

総合的な学習の時間、図画工作の時間

福重小学校	82人 (6月30日)
-------	-------------

図画工作の時間

住吉小学校	55人 (9月22日)
有田小学校	194人 (10月14日)
柏原小学校	100人 (10月20日)
飯倉中央小学校	56人 (10月20日)
東箱崎小学校	82人 (10月20日)
住吉小学校	51人 (10月25日)
当仁小学校	102人 (10月28日)
香住丘小学校	138人 (11月17日)
住吉小学校	36人 (11月22日)
大名小学校	20人 (3月19日)
舞鶴小学校	25人 (3月19日)

施設等を活用した体験学習

原北中学校	242人 (7月7日)
-------	-------------

職場体験学習

照葉中学校	3人 (6月28日～30日)
博多中学校	3人 (8月23日～25日)
東住吉中学校	5人 (8月24日、25日)
東光中学校	3人 (8月25日、26日)
福岡雙葉中学校	2人 (8月29日、30日)
内浜中学校	5人 (9月6日、7日)
那珂中学校	5人 (9月6日～8日)
百道中学校	5人 (9月6日～8日)
下山門中学校	3人 (9月7日、8日)
警固中学校	5人 (9月12日～14日)
城西中学校	5人 (9月13日～15日)
筑紫丘中学校	2人 (9月13日～15日)
宮竹中学校	4人 (9月13日～15日)
片江中学校	5人 (9月15日、16日)

インターンシップ(就業体験)	
福岡県立稲築志耕館高等学校	3人 (7月29日)

平成23年度夏期インターンシップ研修

福岡西陵高等学校	1人 (8月1日～8月5日)
九州産業大学付属九州産業高等学校	2人 (8月1日～8月5日)
博多高等学校	2人 (8月1日～8月5日)
福岡女子高等学校	4人 (8月8日～8月12日)

インターンシップ

東福岡特別支援学校	1人 (11月14日～17日)
-----------	-----------------

博物館実習(5月から10月までの中で10日間程度)

福岡大学	1人
西南学院大学	1人
九州産業大学	1人
福岡教育大学	1人
佐賀大学	1人

インターンシップ

福岡教育大学付属福岡中学校外国語指導助手	1人 (5月9日～3月31日)
----------------------	-----------------

3年次研修短期社会体験研修

東福岡特別支援学校教諭	1人 (8月2日～4日)
-------------	--------------

教育普及事業

2 とびだせ！アジア美術館事業

心身の疾病や障がい、保護の必要性などの理由から来館自体が非常に困難な子どもたちを対象に、入院・入所する施設内で、所蔵品展示やワークショップを行い、アジアの美術・文化に触れる機会を提供した。

□こども病院・感染症センター

10月15日(土)～10月24日(月)

作品展示: 絵画11点

□生の松原特別支援学校

10月24日(月)～11月4日(金)

作品展示: 絵画9点

ワークショップ: 10月26日(水)ルー・ヤン(中国)「LEDでアクセサリーを作ろう！」

「博多リバレインド明」
 (「第17回博多灯明ウォッチング2011」同時開催)
 10月22日(土)18:00～21:00
 場所:博多リバレイン

博多リバレインが毎秋開催している「博多リバレインド明」に美術作家招聘事業で滞在していたグエン・フォン・リン(ベトナム)とルー・ヤン(中国)が参加した。グエン・フォン・リンは、蓮の花とカエルの下絵を描き、数千個の灯明を博多リバレイン1階のフェスタスクエアに設置した。また、ルー・ヤンはホテルオークラ福岡の壁面にCGで描いた映像作品を上映した。



博多リバレインド明

「福岡ミュージアムウィーク2011」

美術館・博物館の役割である「出会いの場」「知識の場」「発見の場」をより多くの人々に知ってもらうため、5月18日の「国際博物館の日」を記念して福岡市の4館(福岡市博物館、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡県立美術館)が連携し、5月14日から29日まで様々な催しを開催した。

福岡アジア美術館の催し

□講演会

藤原新也講演会「写真と言葉」
 5月21日(土)14:00～16:00
 参加者:応募者202人
 場 所:彫刻ラウンジ

□ギャラリーツアー

5月14日(土)～17日(火)、5月19日(木)～20日(金)、5月23日(月)～24日(火)、
 5月26日(木)～28日(土)14:00～14:40
 参加者:一般96人
 場 所:アジアギャラリー

□ギャラリー&バックヤードツアー

5月22日(日)、5月29日(日)14:00～15:00
 参加者:一般33人
 場 所:アジアギャラリーほか

□アジアの絵本の読み聞かせ

5月14日(土)、15日(日)、22日(日)、28日(土)、29日(日)
 ①11:30～12:00 ②13:30～14:00
 参加者:未就学児と保護者172人(49組)

□その他

- アジアギャラリー観覧料無料
- 4館を巡るスタンプラリー
- カフェ、ショップでの割引サービス
- 福岡シティループバス「ぐりーん」で巡るミュージアムガイドツアー
 5月19日(木)、26日(木)10:05～11:00
 参加者:応募者36人
 場 所:アジアギャラリー

関連記事

2011. 5.22 西日本新聞(朝) 写真と言葉一体感 映像作品でも紹介
 作家・写真家 藤原新也さん講演
2011. 5.30 西日本新聞(朝) 美術館で読み聞かせ 福岡ミュージアムウィーク閉幕



藤原新也講演会



絵本の読み聞かせ



ギャラリー&バックヤードツアー

ボランティア活動

今年度は、ボランティアから活動の希望が多かった「絵本と紙芝居の読み聞かせ」を試行的に実施した。研修の一環として石橋美術館を訪問してボランティアと交流し、活動の紹介や実務についての情報交換などを行った。また、ボランティア登録者数が200人を割ったため、ボランティアの新規募集を行うと同時に(2月～3月)、現ボランティアの再登録と次年度から施行する組織改編などを行った。

活動内容およびグループ別のべ人数 (一人が複数のグループで活動できるため)

(H24年2月現在)

活動区分	活動内容	計
図書資料	図書資料の整理・修理、配架など	48
学芸資料	新聞記事のスクラップ、学芸関連資料の整理補助など	25
情報・ネット	他館の展覧会情報(郵送印刷物)の整理、雑誌掲載記事のスクラップ、ボランティア宛の電子メール管理など	22
案内・解説	アジアギャラリーの作品解説や施設案内など	49
ボランティア通信編集	ボランティア向け印刷物(ボランティア通信)の編集・発行	9
ボランティア催事	ボランティア交流会、ボランティア研修会等の企画・実施	10
交流	滞在作家・研究者の支援(制作補助、研究補助、語学補助)、イベントの支援	55
広報	美術館広報誌および展覧会ポスター・チラシ等の発送と配布	17
計		235
ボランティア登録者数		189

活動

【図書資料】

4月2日より活動開始。おもな活動日を毎月10日と20日とし、それ以外の日程にも随時(毎月2日以上、1日につき2時間以上)活動を行った。

【学芸資料】

4月1日より活動開始。随時(毎月2日以上、1日につき2時間以上)活動を行った。

毎月16日にグループミーティングを開催し、活動状況の確認および館の事業についての情報交換などを行った。

【情報・ネット】

4月2日より活動開始。以後、第1・3木曜および第2・4土曜を中心に活動を行った。活動後に毎回ミーティングを開催した。

【案内・解説】

4月1日より活動開始。休館日を除く毎日(13:00～16:00)、アジアギャラリーの作品解説を行った。学校を含む団体観覧者への施設案内および作品解説も行った。5月14日～29日のミュージアムウィーク期間中に、アジアギャラリーの来場者を対象にしたギャラリーツアーやグリーンバスの利用者向けに作品解説を行った。また、毎月最終土曜日にミーティングを開催した。

【ボランティア通信編集】

4月より活動開始。ボランティア向け印刷物「ボランティア通信 vol.15」を製作、発行した(6月18日)。次号の製作がメンバーの欠員などで難しくなったため、今後の活動についてミーティングを行った。今後はブログへ移行し、仮サイトを作成した(9月15日)。

【ボランティア催事】

4月9日より活動開始。ミーティングを随時開催し、ボランティア活動の充実およびボランティア同士のつながりを促進するための催事を企画、実施した。

◇ボランティア研修会

- 4月 9日 第5回「バン格拉デシュ調査1994～2011秘話」
講師：五十嵐理奈
- 5月 8日 第6回「石橋美術館とのボランティア交流会」
会場：石橋美術館
- 6月 11日 第7回「施設管理とマネージメントについて－作品購入の流れや事業仕訳の裏話など－」
講師：五郎丸保
- 7月 23日 第8回「台湾の「日本画」と女性作家」
講師：ラワンチャイクン寿子
- 10月 15日 第9回「図画工作、美術教育の今」
講師：古川勝利
- 2月 18日 第10回ボランティア研修会「映像の歴史」
講師：松浦仁



ミュージアムウィーク ボランティアによるギャラリーツアー



第6回ボランティア研修会 石橋美術館ボランティアとの交流



第9回ボランティア研修会

◇レジデンス歓迎会

6月25日 第Ⅰ期 会場:交流スタジオ

9月18日 第Ⅱ期 会場:交流スタジオ

◇クリスマスパーティー

12月24日 会場:ピストロIUKI

【交流】

7月29日～8月21日

「おいでよ！絵本ミュージアム2011」の会場案内、
誘導、読み聞かせなどを行った。

10月22日 「博多リバレイン灯明」の設置作業などを支援した。

【広報】

4月23日より活動開始。特別企画展(5件)および広報誌「あじび
ニュース」(4件)の発送作業を行った。また、印刷物の設置や配布
作業も随時行った。

【その他】

◇ボランティア総会

2月 4日 会場:交流スタジオ

◇アジアギャラリーの展示替え毎に、担当学芸員によるボラン
ティア向けのギャラリートークを行った。



博多リバレイン灯明の支援

広報活動

あじびニュース



Vol.44 2011.4.1発行

- 決定！2011年度展覧会スケジュール
- 草原の国から～モンゴルの光と影
- アジアの「夢十夜」
- 2011年度レジデンス・プログラム
- シンガポール国立美術ギャラリーと相互協力覚書を締結
- 釜山市立美術館との交流が発展！
- 私の逸品—江口カン(映像ディレクター)
- 追っかけ！レジデンス・プログラム—リンチェン・ウォンディさん
- 福岡アジア美術館インフォメーション 2011年4月～6月



Vol.46 2011.10.1発行

- 郎静山の写真
- 白と黒がつくる世界
- いわき市立美術館—あじびコレクション展レポート
- 「インド・コレクターズ」展への道のり
- エッジの効いた2人の新世代アーティストに注目！
- ネパールと日本、2つの国の文化が融合
- セン・ユジンさん～あじびでの調査・研究を終えて～
- この秋のゲスト・レジデント
- 私の逸品—八代亜紀さん(演歌歌手)
- 華やかなサリーで、艶やかに変身！
- 福岡アジア美術館インフォメーション 2011年10月～12月



Vol.45 2011.7.1発行

- おいでよ！絵本ミュージアム2011
- あじびのファッション大図鑑
- 飛びたい！—自由な大空へ
- 韓国ビデオ・アート
- アジア美術が来るぞ！アジアから元気をもらおう！—福岡アジア美術館コレクション展
- 「インド・コレクターズ」展への道のり
- ようこそジュピター・プラダンさん
- 2人の研究者をサポート
- 福岡ミュージアムウィーク
- 私の逸品—藤原新也さん(作家・写真家)
- ミュージアムショップ「ape rossa」があじびに仲間入り
- 図書閲覧室の開室時間が変わりました
- 福岡アジア美術館インフォメーション 2011年7月～9月



Vol.47 2012.1.1発行

- 魅せられて、インド。—日本のアーティスト/コレクターの眼
- 南アジアの現代美術—ネットワークから世界へ
- キラキラ☆チカチカ—光のアート
- ナンシーさんのレジデンス日記
- 第11回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2
- ようこそ、スプサン・サンワチラピバンさん
- 私の逸品—野村正育さん(NHKアナウンサー)
- あじびでのレジデンスを終えて—ピンキーさん
- 福岡アジア美術館インフォメーション 2012年1月～3月

リーフレット

平成24年度展覧会リーフレット

2012.3.31発行

- 展覧会のご案内2012年4月～2013年3月
- 交流ギャラリー
- レジデンス事業のご案内

規格

幅594×縦210mm(両面カラー・6つ折り)

企画・発行 福岡アジア美術館

編集 木下貴子(CXB)

デザイン 荻原晋一(n4g.jp)

ホームページ

<http://faam.city.fukuoka.lg.jp/>

コンテンツ

- 美術館について／基本理念、活動案内、施設概要、美術館ができるまで、アジア美術館の歩み
- コレクション／収集方針、主な作品、所蔵品検索
- 美術館だより／最新トピックス、バックナンバー
- 利用案内／利用案内、交通案内、館内マップ、FAAM CAFÉ
- 出版物・グッズ／出版物・グッズ、展覧会図録ほか、広報誌、オリジナルグッズ、PDFデータ(事業報告書ほか)
- 展覧会案内／展覧会最新情報、スケジュール
- イベント案内／最新のイベント、過去のイベント
- レジデンス事業／今年度の滞在者、過去の滞在者、事業報告書、募集要項

規格 A4 8ページ 企画・発行 福岡アジア美術館 編集 木下貴子(CXB)

デザイン 荻原晋一(n4g.jp) 和文英訳 ステファニー・オリ

The background of the page is an abstract composition of thick, expressive brushstrokes. The color palette is dominated by various shades of green, ranging from light, almost white-green to deep forest and navy blues. The strokes are layered and textured, creating a sense of depth and movement. The overall effect is organic and painterly.

所蔵作品

新所蔵作品数 H23年度

	購入	寄贈	合計
絵画	26	22	48
版画	81	28	109
映像	1	1	2
その他	1	0	1
合計	109	51	160

番号 制作者
タイトル
制作年
ジャンル 素材
サイズ(cm) 制作地

新所蔵作品一覧

- | | | | | | | | |
|---|--|----|--|----|--|---|---|
| 1 | ギャンカル・バジュラチャリヤ
尊勝仏塔
2009
絵画 ポスターカラー・画布
53 x 42.4 ネパール | 10 | ラトナ・ゴバル・シンクワル
白ターラー
2009
絵画 ポスターカラー・画布
51.6 x 38.7 ネパール | 19 | ハリ・ブラサド・バイディヤ
仏頂尊勝母
2007
絵画 鉱物顔料、ポスターカラー・
画布
48 x 38.2 ネパール | 27 | シャーマン・オン
はし
2007-08
映像 ビデオ(112分)
マレーシア |
| 2 | ギャンカル・バジュラチャリヤ
般若仏母
2003
絵画 ポスターカラー・画布
46.4 x 46.4 ネパール | 11 | ラトナ・ゴバル・シンクワル
アカシュバイラヴ
2009
絵画 ポスターカラー・画布
50.2 x 38.6 ネパール | 20 | マダン・キジュ
カバリ・バイラブとインドラー
ヤニー
2010
絵画 ポスターカラー・画布
45.7 x 35.6 ネパール | 28 | ホン・ソングダム
五月-1 馬脚
1983
版画 ゴム版・紙
40.5 x 29.4 韓国 |
| 3 | ヨゲンドラ・サキャ
マハスルヤピンバ観音
2003
絵画 顔料・画布
42.8 x 30.1 ネパール | 12 | ラム・ブラカシュ・シュレスタ
ヤミを伴ったヤマ(閻魔法王)
2007
絵画 ポスターカラー・画布
55.9 x 37.8 ネパール | 21 | ウダヤ・チャラン・シュレスタ &
チャンドラ・キジュ
ガンガー
2010
絵画 ポスターカラー・画布
42.7 x 30.2 ネパール | 29 | ホン・ソングダム
五月-2 たいまつ行進
1983
版画 木版・紙
25.3 x 43 韓国 |
| 4 | ウザエ・バジュラチャリヤ
ガネーシャ
2009
絵画 ポスターカラー・画布
56.2 x 48.1 ネパール | 13 | ラム・ブラカシュ・シュレスタ
弥勒菩薩
2007
絵画 ポスターカラー・画布
33.7 x 23.1 ネパール | 22 | ウダヤ・チャラン・シュレスタ &
ムクンダ・パウデル
白鳥に乗ったサラスヴァティー
2008
絵画 ポスターカラー・画布
53.8 x 41.6 ネパール | 30 | ホン・ソングダム
五月-3 あやつり人形
1986
版画 木版・紙
30.5 x 27 韓国 |
| 5 | ジャヤ・ラム・マハルジャン
ヴァジュラキラ(金剛燄)
2009
絵画 ポスターカラー・画布
34 x 25.1 ネパール | 14 | スندگان・シンクワル
カドゥガバーニ・バイラヴァ
2009
絵画 ポスターカラー・画布
34.8 x 25.8 ネパール | 23 | ウダヤ・チャラン・シュレスタ &
チャンドラ・キジュ
サラスヴァティー
2010
絵画 ポスターカラー・画布
34.9 x 25.6 ネパール | 31 | ホン・ソングダム
五月-4 友
1988
版画 ゴム版・紙
27 x 20.3 韓国 |
| 6 | ディベンドラ・マン・シンクワル
文殊菩薩
2010
絵画 ポスターカラー・画布
60.5 x 45.4 ネパール | 15 | キラン・ラル・ジョシ
ラクシュミー(吉祥天)
2007
絵画 ポスターカラー・画布
35.6 x 47.2 ネパール | 24 | ラヴィンドラ・ムナカルミ
インドラーニー
2010
絵画 油彩・画布
95.4 x 65.3 ネパール | 32 | ホン・ソングダム
五月-5 見物人
1981
版画 木版・紙
19.5 x 27.3 韓国 |
| 7 | ラジェンドラ・マハルジャン
チャクラサンヴァラ(最勝楽)
2009
絵画 鉱物顔料・画布
45 x 33.2 ネパール | 16 | マダン・キジュ
ヴァジュラヴァラヒ(金剛亥母)
2010
絵画 ポスターカラー・画布
40.2 x 30.1 ネパール | 25 | 浅井裕介
標本・千里眼
2010
絵画 ペン、マスキングテープ・紙
109 x 79 日本 | 33 | ホン・ソングダム
五月-6 血涙-1
1983
版画 ゴム版・紙
30.2 x 42.8 韓国 |
| 8 | ディーバック・クマール・ジョシ
ガンガーの降下
2008
絵画 鉱物顔料・画布
42.1 x 30.8 ネパール | 17 | リテシュ・シャヒ
トリブラバイラヴィ
2009
絵画 ポスターカラー・画布
40.5 x 28.9 ネパール | 26 | 浅井裕介
標本・投票途中
2010
絵画 ペン、マスキングテープ・紙
110 x 80 日本 | 34 | ホン・ソングダム
五月-7 血涙-2
1981
版画 ゴム版・紙
23 x 29.5 韓国 |
| 9 | マヘスワル・ドンゴル
緑ターラー
2009
絵画 ポスターカラー・画布
49.4 x 34.5 ネパール | 18 | ラトナ・バイ・バジュラチャリヤ
サブタローチャナ・ターラー
2007
絵画 鉱物顔料、ポスターカラー・
画布
46.7 x 39 ネパール | | 35 | ホン・ソングダム
五月-8 血涙-3
1981
版画 ゴム版・紙
21.1 x 31 韓国 | |



ホン・ソングム
 五月-23 銃、わがいのち
 1987
 版画 ゴム版・紙
 31.3 x 42.8 韓国

- | | | | | | | | |
|----|---|----|--|----|---|----|--|
| 36 | ホン・ソングム
五月-9 血涙-4
1981
版画 ゴム版・紙
26.4 x 39.9 韓国 | 45 | ホン・ソングム
五月-18 黄金洞戦闘
1983
版画 ゴム版・紙
19.9 x 30.5 韓国 | 54 | ホン・ソングム
五月-27 大字報
1988
版画 ゴム版・紙
34.2 x 28.7 韓国 | 63 | ホン・ソングム
五月-36 大同世-2
1984
版画 ゴム版・紙
40.9 x 53.5 韓国 |
| 37 | ホン・ソングム
五月-10 血涙-5
1982
版画 ゴム版・紙
30.4 x 43.1 韓国 | 46 | ホン・ソングム
五月-19 行こう、道庁へ
1988
版画 木版・紙
40.8 x 54.5 韓国 | 55 | ホン・ソングム
五月-28 飯
1987
版画 ゴム版・紙
41.1 x 30.2 韓国 | 64 | ホン・ソングム
五月-37 流れる水よ
1986
版画 ゴム版・紙
42.5 x 55 韓国 |
| 38 | ホン・ソングム
五月-11 血涙-6
1983
版画 ゴム版・紙
30.6 x 23 韓国 | 47 | ホン・ソングム
五月-20 闘士回報-2
1988
版画 木版・紙
40.9 x 55 韓国 | 56 | ホン・ソングム
五月-29 孝川戦闘
1983
版画 ゴム版・紙
53.6 x 52.2 韓国 | 65 | ホン・ソングム
五月-38 夜明けの戦闘
1989
版画 ゴム版・紙
30 x 40.5 韓国 |
| 39 | ホン・ソングム
五月-12 血涙-7
1983
版画 ゴム版・紙
22.7 x 37.5 韓国 | 48 | ホン・ソングム
五月-21 旗
1988
版画 ゴム版・紙
34.7 x 23.2 韓国 | 57 | ホン・ソングム
五月-30 弟のために
1983
版画 木版・紙
16.5 x 27 韓国 | 66 | ホン・ソングム
五月-39 なくなった死体
1983
版画 ゴム版・紙
30.5 x 42.7 韓国 |
| 40 | ホン・ソングム
五月-13 闇埋葬
1989
版画 ゴム版・紙
34.3 x 26.3 韓国 | 49 | ホン・ソングム
五月-22 武器分配
1989
版画 ゴム版・紙
42.3 x 30.1 韓国 | 58 | ホン・ソングム
五月-31 返さなければならぬ仇
1985
版画 ゴム版・紙
30.2 x 21.8 韓国 | 67 | ホン・ソングム
五月-40 夜明け
1988
版画 ゴム版・紙
19.5 x 24.9 韓国 |
| 41 | ホン・ソングム
五月-14 闘士回報-1
1986
版画 ゴム版・紙
42.1 x 29.2 韓国 | 50 | ホン・ソングム
五月-23 銃、わがいのち
1987
版画 ゴム版・紙
31.3 x 42.8 韓国 | 59 | ホン・ソングム
五月-32 妊婦の死
1985
版画 木版・紙
31.6 x 35.4 韓国 | 68 | ホン・ソングム
五月-41 私の名前は
1981
版画 ゴム版・紙
24.8 x 21.2 韓国 |
| 42 | ホン・ソングム
五月-15 逃亡
1989
版画 木版・紙
19.9 x 37.6 韓国 | 51 | ホン・ソングム
五月-24 火
1988
版画 ゴム版・紙
42.5 x 31.1 韓国 | 60 | ホン・ソングム
五月-33 武器回収拒否
1985
版画 ゴム版・紙
30.3 x 42.7 韓国 | 69 | ホン・ソングム
五月-42 無等山下 萬古解怨神
市民軍
1985
版画 ゴム版・紙
42.7 x 56 韓国 |
| 43 | ホン・ソングム
五月-16 兄弟
1981
版画 ゴム版・紙
30.1 x 42.7 韓国 | 52 | ホン・ソングム
五月-25 大同世-1
1984
版画 木版・紙
41.8 x 55.5 韓国 | 61 | ホン・ソングム
五月-34 献血救護
1984
版画 ゴム版・紙
40.0 x 42.7 韓国 | 70 | ホン・ソングム
五月-43 剣の舞
1985
版画 ゴム版・紙
55.6 x 52.2 韓国 |
| 44 | ホン・ソングム
五月-17 良洞戦闘
1983
版画 ゴム版・紙
31.3 x 23.2 韓国 | 53 | ホン・ソングム
五月-26 道庁決起大会
1984
版画 ゴム版・紙
42.7 x 53.8 韓国 | 62 | ホン・ソングム
五月-35 献血
1984
版画 ゴム版・紙
30.1 x 42.8 韓国 | 71 | ホン・ソングム
五月-44 鎌の舞
1985
版画 ゴム版・紙
53.6 x 42.8 韓国 |



イ・ユニョブ
鶏頭の花燭で(龍山復活図)
2010
版画 木版・紙
51.2x76.1 韓国

- | | | | | | | | |
|----|--|----|--|----|---|-----|--|
| 72 | ホン・ソンダム
五月-45 ユン・サンウォン烈士図
1983
版画 ゴム版・紙
53.3x40.8 韓国 | 81 | キム・ボンジュン
四月の歌
1983
版画 木版、水彩・紙
25.4x34.8 韓国 | 90 | イ・ユニョブ
エバーランドで、金さん
2005
版画 木版・紙
124.5x91.5 韓国 | 98 | マリガーワゲー・サルリス
シッタールタ王子とヤショウダ
ラー王女の結婚式
20世紀半ば
版画 水彩、リトグラフ・紙
53.7x37 スリランカ |
| 73 | ホン・ソンダム
五月-46 市民軍神将図
1983
版画 ゴム版・紙
56x42.7 韓国 | 82 | キム・ボンジュン
鉢巻きを締めた労働者
1982
版画 シルクスクリーン・紙
24.3x18.7 韓国(寄贈) | 91 | イ・ユニョブ
黄泉路
2005
版画 木版・紙
182x90.7 韓国 | 99 | マリガーワゲー・サルリス
ワップ祭日に宙に浮くシッター
ルタ王子
20世紀半ば
版画 リトグラフ・紙
37.2x53.7 スリランカ |
| 74 | ホン・ソンダム
五月-47 四季-春
1985
版画 ゴム版・紙
57x43 韓国 | 83 | キム・ボンジュン
木の首枷をかけられた祖先
1981
版画 木版、水彩・紙
34.9x21 韓国(寄贈) | 92 | イ・ユニョブ
テチュリ婦人会長さん
2006
版画 木版・紙
121.8x202.8 韓国 | 100 | マリガーワゲー・サルリス
仏陀に転生して悟りを開くこと
を懇願する天人たち
20世紀半ば
版画 リトグラフ・紙
36.9x53.4 スリランカ |
| 75 | ホン・ソンダム
五月-48 四季-夏
1985
版画 ゴム版・紙
56.8x42.4 韓国 | 84 | キム・ボンジュン
畦
1983/2010
版画 木版、水彩・紙
34.9x26.3 韓国(寄贈) | 93 | イ・ユニョブ
鶏頭の花燭で(龍山復活図)
2010
版画 木版・紙
51.2x76.1 韓国 | 101 | マリガーワゲー・サルリス
天人への説法
20世紀半ば
版画 オフセット・紙
36.8x52.8 スリランカ |
| 76 | ホン・ソンダム
五月-49 四季-秋
1985
版画 ゴム版・紙
56.6x42.7 韓国 | 85 | キム・ボンジュン
統一解冤(かいえん)図
1985/2009
版画 木版、水彩・紙
64.6x44.8 韓国(寄贈) | 94 | マリガーワゲー・サルリス
ガウタマ・シッタールタ王子の
誕生
20世紀半ば
版画 リトグラフ・紙
37.1x52.9 スリランカ | 102 | マリガーワゲー・サルリス
施しをするスジャータ
20世紀半ば
版画 水彩、リトグラフ・紙
36.9x53 スリランカ |
| 77 | ホン・ソンダム
五月-50 旗の舞
1985
版画 ゴム版・紙
55.4x42.1 韓国 | 86 | キム・ボンジュン
人乃天一海月先生
1992
版画 シルクスクリーン・紙
36.1x18.8 韓国(寄贈) | 95 | マリガーワゲー・サルリス
シッタールタ王子への最初の礼拝
20世紀半ば
版画 リトグラフ・紙
36.9x53.4 スリランカ | 103 | マリガーワゲー・サルリス
弓の腕前を披露するシッター
ルタ王子
20世紀半ば
版画 水彩、リトグラフ・紙
36.8x54.1 スリランカ |
| 78 | ホン・ソンダム
五月 扉
1989
版画 木版・紙
7.1x11.1 韓国 | 87 | イ・ユニョブ
ケクサリの人びと
2003
版画 木版・紙
132x89.3 韓国 | 96 | マリガーワゲー・サルリス
シッタールタ王子と母マヤー
王妃
20世紀半ば
版画 水彩、リトグラフ・紙
54.1x37 スリランカ | 104 | マリガーワゲー・サルリス
出家:髪を切り落とすシッター
ルタ王子
20世紀半ば
版画 水彩、リトグラフ・紙
37.1x53.4 スリランカ |
| 79 | キム・ボンジュン
お母さん、ただいま
1981
版画 シルクスクリーン・紙
21.6x18.5 韓国 | 88 | イ・ユニョブ
冬、練炭配達
2004
版画 木版・紙
89.3x55.8 韓国 | 97 | マリガーワゲー・サルリス
ルンビニからのマヤー王妃
20世紀半ば
版画 オフセット・紙
36.7x53.4 スリランカ | 105 | マリガーワゲー・サルリス
王宮を離れるシッタールタ王子
20世紀半ば
版画 リトグラフ・紙
36.9x53.7 スリランカ |
| 80 | キム・ボンジュン
めげないぞ
1981
版画 木版、水彩・紙
38.3x27.2 韓国 | 89 | イ・ユニョブ
多国籍飯場
2004
版画 木版・紙
100.3x194.7 韓国 | | | | |



マーリガーワゲー・サルリス
ガウタマ・シッダールタ王子の誕生
20世紀半ば
版画 リトグラフ・紙
37.1x52.9 スリランカ

- | | | | | | | | |
|-----|---|-----|---|-----|--|-----|--|
| 106 | マーリガーワゲー・サルリス
(シッダールタ王子とマーヤー王妃)
20世紀半ば
版画 水彩、リトグラフ・紙
53.4 x 36.8 スリランカ | 114 | アウン・コー
アウン・コーの村
2010-2011
その他 インクジェットプリント・紙(9枚)、ビデオ(41分32秒) ミャンマー | 123 | キム・サング
No.625
1996
版画 木版・紙
35.3 x 25.5 韓国(寄贈) | 132 | ユ・ヨンヒ
ピンクにレモン
1996
版画 リトグラフ・紙
45.9 x 65 韓国(寄贈) |
| 107 | マーリガーワゲー・サルリス
ボーディサッタと黄金のカニ
20世紀半ば
版画 水彩、リトグラフ・紙
28.3 x 37.8 スリランカ | 115 | カン・クムジュ
記憶 200307
2003
版画 リトグラフ・紙
56.6 x 74.7 韓国(寄贈) | 124 | キム・サング
No.631
1996
版画 木版・紙
35 x 25.2 韓国(寄贈) | 133 | オ・イリヤン
無題
2004
版画 エッチング・紙
51. x 39.6 韓国(寄贈) |
| 108 | ヘンリー・ダルマセナ
ブッダの前で踊る3人の娘(マラー)
20世紀半ば
版画 オフセット・紙
37.3 x 70 スリランカ | 116 | カン・クムジュ
記憶 200405
2004
版画 リトグラフ・紙
54.2 x 39 韓国(寄贈) | 125 | キム・サング
No.632
1997
版画 木版・紙
26.2 x 35.2 韓国(寄贈) | 134 | オ・イリヤン
無題
2004
版画 エッチング・紙
51.6 x 39.6 韓国(寄贈) |
| 109 | G.A.ウィジェダサ
ドウトウジェムヌ王の家族
20世紀半ば
版画 リトグラフ・紙
38.2 x 55.4 スリランカ | 117 | カン・クムジュ
記憶 200406
2004
版画 リトグラフ・紙
54.3 x 39 韓国(寄贈) | 126 | チャン・ヨンスク
風景
1996
版画 エッチング・紙
21.8 x 27.7 韓国(寄贈) | 135 | オ・イリヤン
無題
2004
版画 エッチング・紙
51.6 x 39.6 韓国(寄贈) |
| 110 | 作者不詳
シッダールタ王子とヤショーダラー女王
20世紀半ば
版画 リトグラフ・紙
49.5 x 35.5 スリランカ | 118 | チョン・ホンジョ
ひとつはすべて、すべてはひとつ
制作年不詳
版画 シルクスクリーン・紙
56.5 x 56.1 韓国(寄贈) | 127 | チャン・ヨンスク
風景
1996
版画 エッチング・紙
21.8 x 27.7 韓国(寄贈) | 136 | ハン・ウンソン
信号 9602
制作年不詳
版画 シルクスクリーン・紙
25.7 x 35 韓国(寄贈) |
| 111 | 作者不詳
シッダールタ王子と両親
20世紀半ば
版画 リトグラフ・紙
49.6 x 35.3 スリランカ | 119 | チョン・ホンジョ
ひとつはすべて、すべてはひとつ
制作年不詳
版画 シルクスクリーン・紙
57 x 76.2 韓国(寄贈) | 128 | チャン・ヨンスク
風景
1998
版画 エッチング・紙
19.6 x 29.9 韓国(寄贈) | 137 | ハン・ウンソン
信号 9604
制作年不詳
版画 シルクスクリーン・紙
34. x 26 韓国(寄贈) |
| 112 | 作者不詳
ジェムヌとティッサを注意するカヴァンティッサ王とヴィハラマハデーヴィー王妃
20世紀半ば
版画 ラメ、リトグラフ・紙
38 x 53.4 スリランカ | 120 | チョン・ホンジョ
ひとつはすべて、すべてはひとつ
制作年不詳
版画 シルクスクリーン・紙
57.1 x 76.4 韓国(寄贈) | 129 | ホン・イッコ
松の平野 I
2006
版画 木版・紙
80.1 x 34.6 韓国(寄贈) | 138 | コン・バイジー(孔柏基)
菩薩
1980
絵画 油彩・紙
80.2 x 80.2 中国(寄贈) |
| 113 | 作者不詳
シッダールタ王子とヤショーダラー女王の結婚
20世紀半ば
版画 水彩、リトグラフ・紙
38.1 x 52.8 スリランカ | 121 | イ・ギボン
生産
制作年不詳
版画 リトグラフ・紙
26.1 x 35.7 韓国(寄贈) | 130 | ホン・イッコ
松の平野 II
2006
版画 木版・紙
80.1 x 34.6 韓国(寄贈) | 139 | コン・バイジー(孔柏基)
二仏
1980
絵画 油彩・紙
85.3 x 84 中国(寄贈) |
| | | 122 | キム・ボンテ
無方向 96-5(人)
1996
版画 シルクスクリーン・紙
40.2 x 60.2 韓国(寄贈) | 131 | ユ・ヨンヒ
素描遊び
1995
版画 リトグラフ・紙
46 x 64.8 韓国(寄贈) | 140 | コン・バイジー(孔柏基)
伎楽
1980
絵画 油彩・紙
82.1 x 81.2 中国(寄贈) |



アウン・コー
アウン・コーの村(部分)
2010-2011
その他 インクジェットプリント・紙(9枚)、ビデオ(41分32秒)
ミャンマー

- | | | | | | |
|-----|---|-----|--|-----|--|
| 141 | コン・バイジー(孔柏基)
伎楽
1980
絵画 油彩・紙
81 x 80.7 中国(寄贈) | 150 | ジッヴァ・ソーマ・マーシェ
ワルリー画 8
1985年頃
絵画 米汁、牛糞・紙
58.5 x 90.9 インド(寄贈) | 159 | ジッヴァ・ソーマ・マーシェ
ワルリー画 17
1985年頃
絵画 米汁、牛糞・紙
58.3 x 91.3 インド(寄贈) |
| 142 | コン・バイジー(孔柏基)
菩薩
1980
絵画 油彩・紙
85.2 x 83.2 中国(寄贈) | 151 | ジッヴァ・ソーマ・マーシェ
ワルリー画 9
1985年頃
絵画 米汁、牛糞・紙
58.4 x 91.3 インド(寄贈) | 160 | ルー・ヤン(陸揚)
復活! 水中カエルゾンビバレエ
2011
映像 ビデオ(6分9秒)
中国(寄贈) |
| 143 | ジッヴァ・ソーマ・マーシェ
ワルリー画 1
1985年頃
絵画 米汁、牛糞・紙
55 x 73.5 インド(寄贈) | 152 | ジッヴァ・ソーマ・マーシェ
ワルリー画 10
1985年頃
絵画 米汁、牛糞・紙
58.4 x 90.4 インド(寄贈) | | |
| 144 | ジッヴァ・ソーマ・マーシェ
ワルリー画 2
1985年頃
絵画 米汁、牛糞・紙
53.8 x 76 インド(寄贈) | 153 | ジッヴァ・ソーマ・マーシェ
ワルリー画 11
1985年頃
絵画 米汁、牛糞・紙
58.3 x 91 インド(寄贈) | | |
| 145 | ジッヴァ・ソーマ・マーシェ
ワルリー画 3
1985年頃
絵画 米汁、牛糞・紙
58.3 x 91.1 インド(寄贈) | 154 | ジッヴァ・ソーマ・マーシェ
ワルリー画 12
1985年頃
絵画 米汁、牛糞・紙
58.4 x 91.3 インド(寄贈) | | |
| 146 | ジッヴァ・ソーマ・マーシェ
ワルリー画 4
1985年頃
絵画 米汁、牛糞・紙
58.5 x 91.4 インド(寄贈) | 155 | ジッヴァ・ソーマ・マーシェ
ワルリー画 13
1985年頃
絵画 米汁、牛糞・紙
58.5 x 91.3 インド(寄贈) | | |
| 147 | ジッヴァ・ソーマ・マーシェ
ワルリー画 5
1985年頃
絵画 米汁、牛糞・紙
58.4 x 91.4 インド(寄贈) | 156 | ジッヴァ・ソーマ・マーシェ
ワルリー画 14
1985年頃
絵画 米汁、牛糞・紙
58.3 x 91 インド(寄贈) | | |
| 148 | ジッヴァ・ソーマ・マーシェ
ワルリー画 6
1985年頃
絵画 米汁、牛糞・紙
58.7 x 90.8 インド(寄贈) | 157 | ジッヴァ・ソーマ・マーシェ
ワルリー画 15
1985年頃
絵画 米汁、牛糞・紙
58.6 x 91 インド(寄贈) | | |
| 149 | ジッヴァ・ソーマ・マーシェ
ワルリー画 7
1985年頃
絵画 米汁、牛糞・紙
55.3 x 76.4 インド(寄贈) | 158 | ジッヴァ・ソーマ・マーシェ
ワルリー画 16
1985年頃
絵画 米汁、牛糞・紙
53.8 x 73.8 インド(寄贈) | | |

①

貸出先:鹿児島市美術館

展覧会名:福岡アジア美術館所蔵作品による アジア美術の近・現代

展覧会会期:2011年3月18日(金)ー4月17日(日)

貸出点数:27点

入場者数:1,063人

作者	作品名
1. プラトゥアン・エームチャルーン	はずの葉の中の生の反映
2. ドルヴァ・ミストリー	見張る守護神-4
3. チェ・ジョンファ(崔正化)	メイド・イン・コリア
4. サイド・アハメッド・ホセイン	街の動物たち
5. サイド・アハメッド・ホセイン	ブランク(半人半馬の神獣)
6. アブドゥル	日本の新幹線
7. アラウッディン(絵)、ユヌス工房(車体製作)	リキシャ
8. 作家不詳	広東の商館
9. リュ・シェンジョン(呂勝中)	○の負形
10. ビクトリオ・エダデス	母と娘
11. モリ・キンセン(森錦泉/吉五郎)	スピン山の眺め
12. リュウ・カン(劉抗)	スリッパ
13. ポボ・イスカandal	画室
14. キエン・イムスイリ	音楽のリズム
15. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #3
16. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #5
17. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #10
18. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #14
19. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #20
20. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #22
21. ジャミニ・ロイ	子鹿
22. シャーンティ・デーヴィー	サーワン・プージャ(7月の儀礼)
23. アイシャ・ハーリド	形×模様 #2
24. アイシャ・ハーリド	アムステルダム 1
25. サヤー・ミヨー	王室の肖像
26. パラ・ポトゥビティヤ	先祖の衣装3
27. グエン・ファン・チャン	行水

②

貸出先:いわき市美術館

展覧会名:アジア美術が来るぞ! アジアから元気をもらおう! 福岡アジア美術館コレクション展

展覧会会期:2011年7月16日(土)~9月4日(日)

貸出点数:132点

入場者数:2,983人

作者	作品名
1. アナック・アグン・グデ・メレゲグ	バーラタ・ユダの戦い
2. ニ・グスティ・アユ・ナティ・アリミニ	葬儀
3. ラジャ・バブ・シャルマー	無題
4. ラジャ・バブ・シャルマー	無題
5. ラジャ・バブ・シャルマー	無題
6. ラジャ・バブ・シャルマー	無題
7. 作家不詳	ゴロカ(天国)
8. 作家不詳	無題
9. 作家不詳	チャンドラカラナラム
10. 作家不詳	無題
11. 作家不詳	パヨーディ=ジャラ(海の水)
12. 作家不詳	無題
13. 作家不詳	無題
14. 作家不詳	無題
15. 作家不詳	無題
16. ジャン・シャオガン(張曉剛)	若い娘としての母と画家
17. ナウィン・ラワンチャイクン	静かなる殺人
18. ツァーガンダリーン・エンフジャルガル	月の子どもたち
19. ラジ・クマル・ダス(絵)、ガッファール工房(車体製作)	リキシャ
20. 作家不詳	貴婦人像
21. 作家不詳	『ラーマヤナ』
22. イ・デワ・ブトゥ・モコ	ワニと友だち
23. リュ・シェンジョン(呂勝中)	○
24. ヘンドラ・グナワン	しらみ獲りと垢すり
25. ジョージェット・チェン(張荔英)	北京風景
26. グエン・ファン・チャン	オーアングアン遊び
27. ト・ゴク・ヴァン	二人の女性と幼児
28. 作家不詳	中国人家族のいる雪景色
29. ファン・リジュン(方力鈞)	シリーズ2 No.3
30. ラムクワー工房カ	夏の宮殿の皇后
31. ハン・ジン/ジン画室(杭穉英/穉英画室)	五洲大薬房ポスター
32. ウェイ・インジョウ(魏瀛洲)	五穀豊穰
33. ウ・シャオユン(呉小雲)	「紅樓夢」-瀟湘館の賈宝玉と林黛玉
34. チェン・リージ(成砺志)	幸福な時代

作者	作品名
35. 作家不詳	ラージャーの肖像
36. 作家不詳	マンゴーの木の下のクリシュナとラーダー
37. 作家不詳	マハーラージャ・サー・マドロー・シンII世の二人の高官
38. リュウ・カン(劉抗)	スリッパ
39. キエン・イムスイリ	音楽のリズム
40. グエン・ミン・タン	二つの柱
41. グエン・クワン・ファイ	仏陀が生まれる
42. グエン・クワン・ファイ	テレビにハローして
43. 作家不詳	文庫版画2
44. 作家不詳	文庫版画5
45. 作家不詳	文庫版画10
46. 作家不詳	文庫版画12
47. グエン・カン	ホーおじさん、村へ行く
48. サヤー・ソオ	王室の肖像
49. サヤー・タウン	王室の肖像
50. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.1
51. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.2
52. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.3
53. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.4
54. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.5
55. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.6
56. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.7
57. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.8
58. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.9
59. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.10
60. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.11
61. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.12
62. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.13
63. アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.14
64. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #1
65. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #2
66. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #3
67. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #4
68. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #5
69. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #6
70. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #7
71. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #8
72. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #9
73. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #10
74. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #11
75. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #12
76. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #13
77. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #14
78. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #15
79. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #16
80. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #17
81. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #18

	作者	作品名
82.	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #19
83.	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #20
84.	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #21
85.	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #22
86.	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #23
87.	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #24
88.	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #25
89.	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #26
90.	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #27
91.	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #28
92.	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #29
93.	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #30
94.	ジャミニ・ロイ	子鹿
95.	ジャミニ・ロイ	母と子
96.	ラヴィンダル・レディ	胸を持ち上げる女
97.	ボウワー・デーヴィー	クリシュナと牛
98.	ゴードーワリー・ダッタ	幼年期のクリシュナ
99.	作家不詳(タンジョール派)	タンジョールのマハーラージャ、プラターブ・シンとその息子、トゥラジャジニ
100.	サヤー・チョン	王室の肖像
101.	ジュアン・ホエ(荘輝)	1996年10月20日河南省新安県北冶中学校・小学校の教師及び生徒の集合写真
102.	ジュアン・ホエ(荘輝)	1997年8月13日河北省大名県旧陞郷高庄村村民の集合写真
103.	ジュアン・ホエ(荘輝)	1997年7月2日河南省安陽市第一人民医院の医師及び看護婦の集合写真
104.	ジュアン・ホエ(荘輝)	1997年7月13日河北省邯鄲市サンシャイン・グループ万達マーケット社員の集合写真
105.	カーリガート派	ガルータを伴うヴィシュヌとラクシュミー
106.	カーリガート派	ラーダーとクリシュナ 2
107.	カーリガート派	カーリー
108.	カーリガート派	ガネーシャ
109.	ジッヴァ・ソーマ・マーシェ	タルバー・ダンス
110.	カーリガート派	身支度をする女性
111.	カーリガート派	高級娼婦を抱くインド紳士
112.	カーリガート派	ペットの恋人をつれた女性
113.	カーリガート派	夫をたたき妻
114.	ラージャー・ラヴィ・ヴァルマー(原画)	サラスヴァティー
115.	作家不詳(ヴァルマー・プリント)	ダットートレーヤ
116.	作家不詳(ヴァルマー・プリント)	踊るクリシュナ
117.	作家不詳(ヴァルマー・プリント)	クリシュナとブラフマー
118.	ヴァステオ・H. バンディヤ(原画)	ヴィシュヌ
119.	作家不詳(ヴァルマー・プリント)	ドルヴァとナーラーヤナとラクシュミー
120.	ゴービンドラム・チャテラ	アサフ・ウダウラの肖像
121.	作家不詳(パトナー派)	宮廷の屋上でブランコを楽しむ婦人たち
122.	スレイヤ・ラーマン	植民地時代のベンガル/ 壁掛け
123.	ボン・ホンチ(彭弘智)	1匹のラッシー
124.	ボン・ホンチ(彭弘智)	1匹のダルメシアン
125.	ボン・ホンチ(彭弘智)	故郷に錦を飾る 5
126.	ハン・ジイン/ジイン画室(杭穉英/穉英画室)	華成たばこ会社ポスター
127.	ウダヤ・チャラン・シュレスタ	シャクティ
128.	ディネシュ・チャラン・シュレスタ	ガンガー

作者	作品名
129. ディネシュ・チャラン・シュレスタ	シヴァとパールヴァティーの家族
130. 作者不詳(カンタ)	千花弁の蓮とヒンドウの神々
131. マヘンドラ・ダンゴル	蓮華手観音菩薩
132. ウダヤ・チャラン・シュレスタ	マハーラクシュミー

関連記事

2011. 7. 15 いわき民報(夕)「あすから市立美術館の企画展 アジア美術の流れを紹介」
 2011. 7. 22 福島民友(夕)「奥の細道」
 2011. 8. 2 いわき民報(夕)「来月4日まで アジア美術の企画展」
 2011. 8. 20 いわき民報(朝) 「黒田さんがアジア美術語る 市立美術館企画展」

③

貸出先:森美術館

展覧会名:イー・ブル展:私からあなたへ、私たちにだけ

展覧会会期:2012年2月4日(土)～5月27日

貸出点数:1点

入場者数:267,372人

作者	作品名
1. イー・ブル	さなぎ

所蔵作品

3 修復一覧

作者	作品名
1. グエン・ファン・チャン	竹を編む
2. グエン・ファン・チャン	行水
3. サリタ・ドンゴル	自然の美
4. ラクナウ派	婦人の肖像
5. 作者不詳	ラージャと踊り子
6. 作者不詳	ラージャと羽のついた女性
7. ファン・リジュン(方力鈞)	No.12
8. ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	瑶族の一家

①

2011. 5. 25 ナリニ・マリニ『ARTing』(6号)花書院

内容
1. 平成11年度レジデンス事業 ナリニ・マリニ「ハムレットマシン」制作風景(3枚)

②

2011. 6. 1 NHK BSプレミアム『たけしアート☆ビート』「第2部:たけしアート☆トーク」

作者	作品名
1. タウン・ダッチャニー	マーラの戦い

③

2011. 7 『跟我學日語 いきいきにほんご』(台湾)到良出版社

作者	作品名
1. サヤ・ソー	王室の肖像
2. ハン・ジイン/ジイン画室(杭禪英/禪英画室)	アンカー・ビールのポスター
3. サイド・アハメッド・ホセイ	リキシャの工房

④

2011. 5. 31 『台湾学通訊 53』(国立中央図書館台湾分館)

作者	作品名
1. チェン・ジン(陳進)	サンティモン社の女

⑤

2011. 8. 25 NHK BS1『地球テレビ エル・ムンド』「バングラデシュ特集」

作者	作品名
1. モハメド・キブリア	無題

⑥

2011.11 後小路雅弘「東南アジア近代美術のパイオニアのひとりとしての林学大」『伝承与開拓 林学大及林友権美術作品展』展覧会図録、廈門美術館

作者	作品名
1. チャン・ジューチー(張汝器)	林学大の肖像

⑦

2011.10 羽田ジェシカ「海を超えた美術—廈門美専・南洋美専の創始者、林学大をめぐる—」『アジア遊学 146』勉誠出版

作者	作品名
1. チャン・ジューチー(張汝器)	林学大の肖像

⑧

2011.12. 1 後小路雅弘「『ポピュラーでないアート』を越えて」『月刊みんぱく』(第35巻12号通巻第411号)国立民族学博物館

作者	作品名
1. サイド・アハメッド・ホセイン	リキシャの工房
2. ラジ・クマール・ダス(絵)、ガッフアール工房(車体製作)	リキシャ
3. 不詳	広東の商館
4. ハン・ジイン/ジイン画室(杭穉英/穉英画室)	アンカー・ビールのポスター
5. 不詳	文革版画

⑨

2012. 1 『西日本美術館ベストガイド』メイツ出版

作者	作品名
1. リュウ・カン	スリッパ
2. ツェレンナドミディン・ツェグミド	オルホン河
3. ラジ・クマール・ダス(絵)、ガッフアール工房(車体製作)	リキシャ

⑩

2012. 3. 15 山内泰「レビュー:ルー・ヤン《復活! 水中カエルゾンビバレエ Revived Zombie Frogs Underwater Ballet》レジデンス成果展」『カロンズネット』
(http://www.kalons.net/index.php?option=com_content&view=article&id=7884&catid=0&lang=ja)

作者	作品名
1. ルー・ヤン(陸楊)	復活! 水中カエルゾンビバレエ

* 発行が確認されたもののみ掲載

入館者数

年度別入館者数

年度別	開館日数	常設展	特別企画展	貸館展覧会等	合計	1日平均
10年度	22		22,250		22,250	1,011
11年度	242	38,530	149,395	70,336	258,261	1,067
12年度	309	66,421	118,677	106,529	291,627	944
13年度	302	29,632	15,330	186,987	231,949	768
14年度	301	45,472	71,375	40,452	157,299	523
15年度	307	56,623	167,353	64,827	288,803	941
16年度	305	39,828	37,815	81,015	158,658	520
17年度	294	42,679	107,203	90,714	240,596	818
18年度	307	53,872	69,007	96,847	219,726	716
19年度	309	45,501	81,972	88,543	216,016	699
20年度	307	50,719	67,797	142,131	260,647	849
21年度	286	35,740	111,635	77,814	225,189	787
22年度	307	40,820	57,272	83,921	182,013	593
23年度	311	62,267	57,101	150,081	269,449	866
累計	3,909	608,104	1,134,182	1,280,197	3,022,483	773

月別入館者数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	25,266	38,526	28,091	29,073	57,042	11,795	25,310	15,093	10,010	10,037	9,361	9,845	269,449

あじびホール月別使用状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	5	4	15	10	8	20	9	9	9	15	8	7	119
人数	542	603	1,100	670	824	4,462	697	616	661	1,430	587	558	12,750

あじびホール年度別使用状況

年度別	件数	人数
10年度	21	1,730
11年度	110	8,480
12年度	106	9,682
13年度	58	8,834
14年度	50	5,849
15年度	70	7,353
16年度	87	8,681
17年度	89	7,336
18年度	109	11,609
19年度	113	11,487
20年度	145	13,360
21年度	102	8,227
22年度	119	10,198
23年度	119	12,750
累計	1,298	125,576

あじびホール使用状況内訳

催物別	件数	人数
講演会	19	1,556
セミナー	3	245
アーティストトーク	2	396
ワークショップ	1	20
映画	40	6,015
演劇	10	874
音楽	2	246
落語	0	0
漫才	6	696
展示	16	1,047
ボランティア	0	0
その他	20	1,655
合計	119	12,750

常設展・特別企画展

展覧会名	開催期間	日数	計	有料観覧者数			無料観覧者数	1日平均	
				小計	一般	高・大			
常設展		311	62,267	10,252	8,760	1,492	0	52,015	200
特別企画展	おいでよ! 絵本ミュージアム 2011 7月29日 - 8月21日	24	48,509	24,262	17,822	455	5,985	24,247	2,021
	魅せられて、インド。 1月21日 - 3月11日	44	8,592	5,695	5,138	557	0	2,897	195
合計		68	57,101	29,957	22,960	1,012	5,985	27,144	

貸館展覧会等 7階企画ギャラリー

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
山下清展～放浪の天才画家～	4月 7日 - 5月 15日	34	37,254	山下清が生きた激動の昭和という時代の中で、清が何を考え感じながら作品を生み出したかという人間像や芸術家像に迫る。
花と光のフェスティバル	5月 19日 - 5月 24日	6	1,546	「雅押花の会」に2003年ガラスアート、2007年にレカンフラワーの会員が加わり「アート雅」の総称で作品展示会を展開している。今回、360点を展示。
第11回福岡江古田会アート展	5月 19日 - 5月 24日	6	493	福岡県内在住の日大芸術学部卒業生による展覧会。写真、絵画、書、工芸、デザイン、版画など約150点を展示。
八代亜紀展 アートの世界	5月 28日 - 7月 10日	38	29,091	西日本新聞社聞き書きシリーズ「時流れて、今」掲載を契機とした企画。年数回個展を開催している八代亜紀の絵画展で約100点を展示。
第39回日本の書展九州展	7月 14日 - 7月 19日	6	2,206	日本を代表する書家と九州・沖縄・山口在住の書家の作品516点を展示。
日中青少年書画交流展	8月 25日 - 8月 30日	6	645	日中青少年の作品交流を通して、お互いの文化を知り、理解し合う。
崇城大学芸術学部デザイン学科森野ゼミ作品展「look and feel 7:まわる。」	8月 26日 - 8月 30日	5	388	「まわる。」を様々な視点で探りながら、異なる表現メディアや趣向を凝らした展示ディレクションに挑戦する。
Doing-六人六様のかたち-	9月 1日 - 9月 6日	6	777	彫刻、書画、陶芸等、六人六様の作家作品を合同で展示し、空間同士の交流を通じて人との交流を目指す。
第6回ぶらり鞆ペンの会作品展	9月 1日 - 9月 6日	6	961	この会は中村洋一氏が主宰・指導する会で2004年発足。福岡市内や近郊の絵が中心だが、中国、チベットなどアジア各国のスケッチも出品。
「ありふれた長崎」松村明写真展	9月 1日 - 9月 6日	6	617	戦後65年、被爆の風化は避けられない。しかし目を凝らすと、ありふれた人の営みや街の中に今なお被爆の傷跡を見て取れる。今、長崎の日常情景を通じ記録することで人々の記憶としたい。
コムニクス(共に見る未来)	9月 8日 - 9月 13日	6	699	福岡と釜山の国際交流展示として絵画・写真・インスタレーションなどの現代美術を基盤とする国際民間芸術展覧会。
平成23年柳景書作展	9月 8日 - 9月 13日	6	1,847	毛筆、硬筆のアート、水墨画などを展示。
西島伊三雄没後10年記念昭和「あの頃」展	9月 15日 - 9月 27日	12	2,305	グラフィックデザイナー・童画家として全国的に多くのファンを持つ西島伊三雄氏の作品は、現代人が忘れてしまっている「優しい心のふれあい」「郷愁」が数多く盛り込まれている。氏の没後10年を記念し、「わらべの四季」「博多の祭り」「観光ポスター」等のコーナーに数百点を展示。
ハローキティアート展	10月 1日 - 11月 6日	32	21,823	本展はハローキティのこれまでの作品を回顧すると共に、更なるコンセプトとデザインを創作したアーティスト山口裕子の、新しい作品を中心としたアンビエントな作品を展示。
創作型絵染「釜我敏子」の世界	11月 10日 - 11月 23日	13	2,797	釜我敏子作品の初期から現在までの公募展受賞作品・入選作品、着物・帯・額装等 約100点を展示。
塚本洋守 立体造形展	11月 25日 - 11月 28日	4	322	陶を主とした立体造形品の展示。
第7回柴田ゼミナール展「Evolution」	12月 1日 - 12月 6日	6	412	九産大芸術学部写真映像学科柴田ゼミナールに所属する3～4年生が、新たな観点から趣向を凝らした作品を展示。
幻の光景へⅡ～フォトモンタージュによる幻想空間	12月 1日 - 12月 6日	6	295	デジタルカメラで撮影した画像を、ソフトで合成加工し、様々なタイプの紙に印刷。写真というより絵画に近い物を目指した作品の展示。
テキスタイル&ファイバーアートグループ grasp第11回展	12月 8日 - 12月 13日	6	562	「grasp」(掴み取る)の名のように、同じ志を持つ者が切磋琢磨し更なる向上を目指す。染織をベースにしたオリジナル造形作品の展示会。
姚明 中国水墨画書道展	12月 8日 - 12月 13日	6	686	NPO法人日中国際交流センター代表 姚 明が水墨画書道展を開催して、日中国際交流を深める。
前原ヨシノブ個展～社の面影～	12月 8日 - 12月 13日	6	255	「社」は知勇より生まれた土地神である。「社」を考察することで、現代における「祝祭」「文化」については「生」の有り様を表出する。
アジア現代彫刻会国際交流展2011	12月 15日 - 12月 20日	6	486	アジアの現代彫刻を模索するため、台湾、韓国のアジア現代彫刻会と連携しての交流展。
第49回オール福岡大学写真展	12月 15日 - 12月 20日	6	550	福岡大学写真部員、OB・OG、職員による写真展。
SCUBADIVING-AIR PRESENTS第1回「美しい海中写真展」	12月 15日 - 12月 20日	6	1,314	福岡県在住のダイバーによる「福岡の海」限定の写真展。写真展を通して地元の海中の世界を知って欲しい。
第1回西扉印会社中展	12月 22日 - 12月 25日	4	771	篆刻作家会員ほか約80名の作品展示を通して、篆刻の奥深さ、面白さを多くの人に知って貰う。そのため展示方法や解説などにも工夫を凝らして展示。
浜雪 墨の世界	12月 22日 - 12月 25日	4	337	書体にこだわらない「読める 見て楽しい 飽きない 元気を与える作品」をテーマにした作品の展示。
第20回アジア美術家連盟日本委員会展	1月 2日 - 1月 10日	8	1,303	現在会員64名、外国人(アジア)交流会員9名で構成され、相互啓発を行っている。出品会員は福岡を中心に、県内、県外他、関西、関東在住の会員で構成されている。
2011アジアデジタルアート大賞展	3月 17日 - 3月 27日	10	1,421	デジタルアート分野の新進クリエイターの発掘や福岡県の拠点性の発信を目的に開催。
光と花のフェスティバル「押花で描く雅の世界」作品展	3月 29日 - 3月 31日	3	540	押花、ガラスアート、レカンフラワー、ネイチャープリント、それぞれの会員による作品展示。
川原秀人 油彩展	3月 29日 - 3月 31日	3	410	油彩やアクリル絵の具を材料とした作品展。
合計		272	113,113	

貸館展覧会等 8階交流ギャラリー

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
爆発する!「アウトサイダー・アート」アール・ブリュット in FUKUOKA	4月 1日 - 4月 10日	9	1,735	パリで開催中の「アール・ブリュット・ジャポネ展」の日本人作家64人の作品928点の中から絵画/オブジェ等約100点を展示。作者の多くは障がいを持つ人々である。
第3回福岡読売写真クラブ写真展	4月 14日 - 4月 19日	6	807	2007年に結成した写真愛好家グループで毎月1回の月例会や四季の撮影会を開催。今回、75名前後の写真作品を出展。
藍と絞り シボリコミュニティ福岡第10回作品展	4月 21日 - 4月 26日	6	568	名古屋の有松に伝承されてきた絞り技法を基礎に自己表現を目指している。年に1度作品展を行い、より多くの人たちに藍とシボリを知って、見ていただきたい。
松田美未子アート表装「游心会」作品展	4月 28日 - 5月 5日	8	866	着物や帯などの古布を使ってデザインした屏風や掛軸・額装など約120点を展示。
キルトinおくむら グループ展	5月 7日 - 5月 10日	4	406	会員のパッチワーク作品を約150点展示。ベットカバー、タペストリー、バック、クッション、ポーチほか。
日本刺繍による源氏物語展	5月 12日 - 5月 17日	6	648	古典の名作、「源氏物語」を日本刺繍で表現。原図は故・海老名正夫画伯。源氏物語の原文の写し、日本刺繍による源氏物語と解説、繡仏、ゆかりの花ほか。
井上俊一退官記念展2000～2010金銀彩器	5月 19日 - 5月 31日	12	1,184	福岡教育大学退官を記念して催す展覧会。2000年から2010年に制作した金銀彩器、陶器30点を展示。最終講義に替えて講演を行う。
川久保正登 陶展	6月 2日 - 6月 7日	6	980	独自の作風を醸し出すために20種以上の釉薬でバラエティに富んだ作品を陶。皿、壺の置物115点前後を出品。
東英美子日本画自選展	6月 9日 - 6月 14日	6	736	美しい日本の風景、吉野ヶ里の連作、山や海の忘れたい風景を中心に、身近な花や木も含め50点余りを展示。
書のとときめき展'11	6月 16日 - 6月 21日	6	935	中国古代文字である甲骨文、金文を主なモチーフとした現代書の創作作品。約60点を出品。
思考する眼 九産大 大島洋研究室写真展	6月 23日 - 6月 28日	6	373	研究室学生による卒業制作の展示会。作品は一人約13点前後でスナップ、ポートレート、PC加工作品等。
第12回イメージラボ写真教室作品展	6月 30日 - 7月 5日	6	769	1999年に創立された写真教室の受講生による作品展。200点前後の作品、40冊ほどの写真集を展示。
九州産業大学芸術学部写真映像学科百瀬研究室写真展「Island Bound」	7月 7日 - 7月 12日	6	623	百瀬研究室のゼミナール学生による展覧会。九州・沖縄・中国地方を中心とした「島」を、写真や映像で18名で展示。
第39回日本の書展九州展	7月 14日 - 7月 19日	6	1,343	日本を代表する書家と九州・沖縄・山口在住の書家の作品516点を展示。
第9回日中友好児童絵画展	7月 28日 - 8月 2日	6	2,120	中国上海市および主に福岡県の幼稚園保育園小学校の児童による入選絵画作品168点と両国の友情出展作品など併せて約400点を展示。
火を織る 博多織元 千年工房作品展	8月 4日 - 8月 9日	6	705	テーマ作品「火」を中心に展示し、博多からの文化発信の一助とする。
寒梅人「第37回全日本水墨画秀作展」最高賞内閣総理大臣賞受賞記念展	8月 11日 - 8月 16日	6	624	墨彩、水墨画、屏風、襖絵、たん画等、いろいろな表現法を用い伝統を重視しながらも現代的手法を取り入れて表現した作品の展示。
児童絵画展	8月 18日 - 8月 23日	6	1,372	恒例の文化事業として福岡地区の小中学生から絵画作品を募集し、入賞作品150点前後を展示。
博多湾 海を見にゆく 西島善和写真展	8月 25日 - 8月 30日	6	970	東区志賀島から西区、糸島地区までの様々な施設がぎっしりと存在している。「博多湾」、親しみを持って呼ばれる海を写真で捉える。
釜山go-between福岡	9月 1日 - 9月 6日	6	390	インスタレーション、絵画、写真等の展示。
福岡インディペンデント映画祭	9月 9日 - 9月 13日	5	688	高性能のデジタル映像作品制作とネット・ワーク・システムの発展を鑑み、いかに新たな表現の可能性を見いだすことができるのかをテーマに映像作品制作の活性化を目指す。
第10回現美墨象展	9月 15日 - 9月 20日	6	810	書を構成している形・線質・リズム・墨色・余白などを取り出し、各自のイメージに合わせて再構築する書の抽象作品。出展者は100名。
曹載虎 茶碗展	9月 22日 - 9月 27日	6	676	茶碗の展示。
日本風景写真協会福岡第一支部第9回写真展	9月 29日 - 10月 4日	6	928	会員24名が課題「四季瞬景」のテーマのもと、日本各地で出会った風景を全支部員で「四季」の組写真として展示。
日本動物園水族館協会福岡県地区会第36回児童および幼児動物画コンクール	10月 6日 - 10月 11日	6	585	日本動物園水族館協会に所属する福岡県内の動物園、水族館でスケッチ大会を行い、主催団に於いて審査会を実施する。その入選作品の展示。
福岡建築パース展2011	10月 13日 - 10月 18日	6	494	建物の完成予想図(パース)を九州各地を中心に関東・関西からの出展を含めて100点余を展示。
写楽水彩画展	10月 20日 - 10月 25日	6	1,299	四季折々の生花や旬の野菜、日常生活の1コマ等を思いのままに水彩画やパステル画、絵手紙などに表現したものの約100点(一人1点)を展示。
第1回Cross120(One-Twenty)中判作品展	10月 27日 - 11月 1日	6	511	イメージラボ写真教室の中判カメラ所有者による写真展。
蔚山大学校視覚デザイン学科卒業作品展	11月 3日 - 11月 8日	6	321	視覚デザイン学科の卒業作品約100点を展示。
第11回アーティスト・イン・レジデンスの成果展	11月 12日 - 11月 27日	14	1,315	福岡アジア美術館が招聘した美術作家グエン・フォン・リン(ベトナム)とルー・ヤン/陸揚(中国)が福岡の人たちと交流しながら制作した作品を展示する成果展。
三つの様相展	12月 1日 - 12月 6日	6	328	3名による立体オブジェ、ドローイング等の作品展。
第23回MOA美術館福岡児童作品展	12月 8日 - 12月 13日	6	2,194	福岡市とその近郊市町村の児童を対象とした作品展。
福岡市人権尊重週作品展	12月 15日 - 12月 25日	10	454	福岡市人権尊重週間行事の一環として、市民から人権尊重に関するポスター(絵画)、標語、絵手紙を募集し、入選作品を展示。
第17回福岡県幼児画展	1月 7日 - 1月 9日	3	1,878	福岡県内の幼稚園、保育園の園児による入選作品450点を展示。
第10回福岡市立高等学校合同文化発表会	1月 12日 - 1月 17日	6	455	福岡市立4高校の生徒作品を展示。
平成23年度博多区文化・芸術展	1月 19日 - 1月 24日	6	637	「創作活動の成果を発表する場」を区民に提供することにより、文化・芸術の促進、振興を図ることを目的として開催された展覧会。
第19回蒼龍会書作展	1月 26日 - 1月 31日	6	1,094	昭和52年に発足し、福岡を中心に会員約300名の書道研究会で、約160点の作品を出展。
Ken De Works 2011卒展。	2月 2日 - 2月 7日	6	407	建築、デザイン学科の卒業制作作品40～50作品の展示。
第52回福岡大学美術部展	2月 9日 - 2月 14日	6	416	美術部員130名による部展。
障害者と健常者の国際交流愛まごころ写真展	2月 16日 - 2月 21日	6	640	障害者及び健常者による書画写真作品展。
九州造形短期大学選抜作品展	2月 23日 - 2月 28日	6	395	2年次生の卒業制作から優秀作品を選抜して展示。

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
福岡教育大学大学院美術教育コース修了制作展	3月 1日－ 3月 6日	6	369	大学院生による絵画、書、映像作品等の修了制作の展示。
第44回九州女子大学書道専修コース卒業書作展	3月 8日－ 3月 13日	6	272	書道専修コースの卒業書作展 約50点を展示。
彩友会(阿部絵画教室)	3月 15日－ 3月 20日	6	587	絵画教室の生徒約60名の作品展示。
ヨーコファンタジー クリスタラインペインティング生徒展	3月 22日－ 3月 27日	6	801	クリスタラインペインティング教室の生徒作品及び講師の作品展150点出品。
AnotherWorld/別世界(福田達也写真展)	3月 29日－ 3月 31日	3	260	主に風景や花などを独自の視点で捉え、ユニークな世界観を持った写真展。
合計		290	36,968	

活動記録

2011年

- 4月 26日 ベトナム大使夫人来館
- 5月 14日 福岡ミュージアムウィーク開催(5月29日まで)
- 6月 22日 招聘美術作家ジュピター・ブラダン氏来館
(8月30日まで滞在)
- 7月 15日 シンガポール国立美術ギャラリー会長来館
- 7月 29日 「おいでよ! 絵本ミュージアム2011」 開会式
- 8月 3日 FBS福岡放送局長来館
- 9月 6日 招聘美術作家グエン・フォン・リン氏来館
(11月15日まで滞在)
- 9月 7日 招聘美術作家ルー・ヤン氏来館
(11月15日まで滞在)
- 10月 15日 とびだせ! アジア美術館(福岡市立こども病院)
(10月24日まで)
- 10月 24日 とびだせ! アジア美術館(生の松原特別支援学校)
(11月4日まで)
- 11月 24日 インドネシア領事館他来館
- 12月 9日 インド・デリー州環境局長他来館
- 12月 28日 仕事納め(12/26 ~ 1/1まで休館)

2012年

- 1月 4日 仕事始め
- 1月 18日 平成24年度美術交流事業招聘者選考会
- 1月 21日 「魅せられて、インド。」展開会式
- 1月 24日 観覧者300万人達成
- 1月 31日 美術資料収集審査会
- 2月 20日 研究者スプサン・サンワチラピバン氏来館
(3月27日まで滞在)
- 3月 16日 美術館協議会

概 要

1 基本理念

アジア美術の独自の創造を目指す一助とするため、
アジア近現代美術を通して人々が集い、
互いに理解し、創造、発信するアジア美術の交流の場とする。
また、世界的に有数の質の高いアジア近現代美術作品の集積を生かし、
展示、収集のみならず、日常的なアジアとの交流、
調査研究活動を積極的に展開するとともに、
アジアの芸術家や研究者等と日本の芸術家、研究者、
市民が互いに創り、学びあうことにより、
新たな創造と相互理解を促す機会を提供する。

2 活動内容

1 交流事業

アジアの美術作家、研究者・学芸員を当館に一定期間招聘し、市民とともに公開制作を行ったり、研究成果を発表したり、また、地域や学校などに出向いてワークショップを実施するなど、様々な交流事業を推進することにより、市民のアジア美術に対する理解、関心を深め、地域文化の質的向上に努めるとともに、アジアの芸術文化の発展に貢献することをめざす。

- (1)アジアの美術作家との交流事業
市民共同創作事業、ワークショップ、滞在制作展を実施し、市民との交流を図る。
- (2)アジアの研究者との交流事業
アジア現代美術に関するフォーラムやワークショップ等の教育プログラムを通して市民との交流を図る。
- (3)地域交流事業
市民が気軽に参加しアジア文化を身近に感じることができるイベントを開催する。

2 展示事業

- (1)コレクション展示(アジアギャラリー)
ジャンル別、テーマ別に紹介
- (2)企画展示(アジアギャラリーほか)
4つのシリーズ展「近代美術」「現代アジアの作家」「生活とアート」「アート横断」として紹介する。
- (3)特別企画展(企画ギャラリー他)
 - ①最新のアジア現代美術を紹介する「福岡アジア美術トリエンナーレ」展を3年毎に開催する。
 - ②アジアを中心とする幅広い時代や分野の特別企画展を開催する。

3 収集事業

- (1)収集方針
アジアの独自性を示す優れた作品を、近現代を中心に収集する。
- (2)収集対象・範囲
原則として、19世紀から現代までの近現代美術を中心とし、パキスタン以東、モンゴル以南、インドネシア以北以西の作品を収集する。

4 教育普及事業

- (1)あじびホール等での講演会、ワークショップ等の開催
- (2)美術情報コーナーや図書閲覧室での資料・情報提供
- (3)アジア美術館の出版物等の制作
 - A.あじびニュース(年4回)
 - B.交流事業記録集(年1回 ホームページで公開)

5 ミュージアム施策事業

ミュージアムウィーク事業
博物館・美術館の役割を広く知ってもらうために制定された「国際博物館の日」(5月18日)を記念して、平成21年度から実施している福岡ミュージアムウィークを拡充して行う。

6 調査・研究

1～5の事業の実施のためのアジア近現代美術の調査・研究

3 施設概要

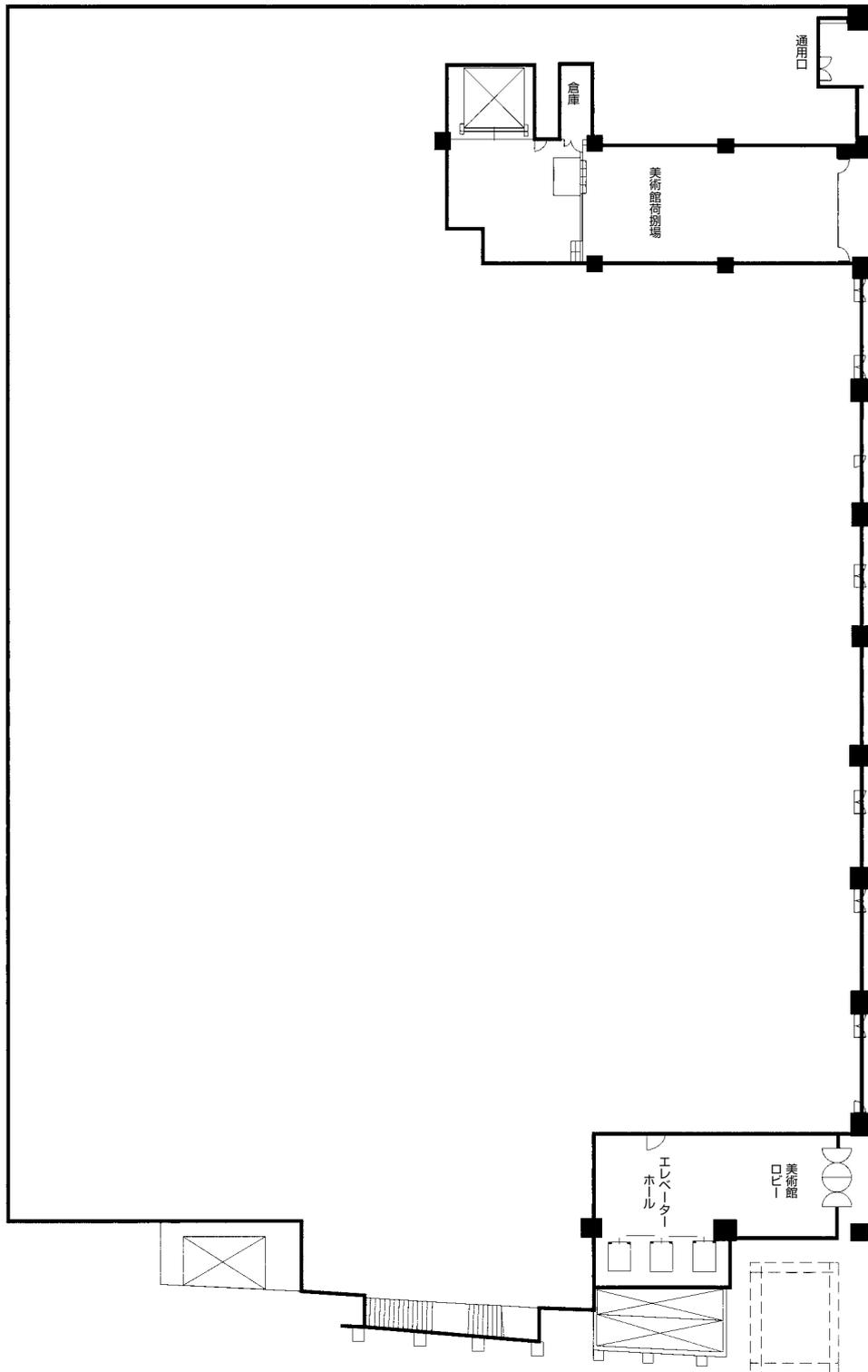
設置者	福岡市長
設立年月日	平成11年(1999)3月6日
名称	福岡アジア美術館
所在	福岡市博多区下川端町3番1号(博多リバレイン)
面積	建物面積151,595.91のうち区分所有 専有面積9,101.05㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下4階地上13階のうち 1階及び7階、8階
設計者	日建設計・観光企画設計社・都市未来ふくおか・西日 本技術開発・設計共同企業体
取得額	保留床取得価額12,552,002千円

[各室面積表一覧] (単位:㎡)

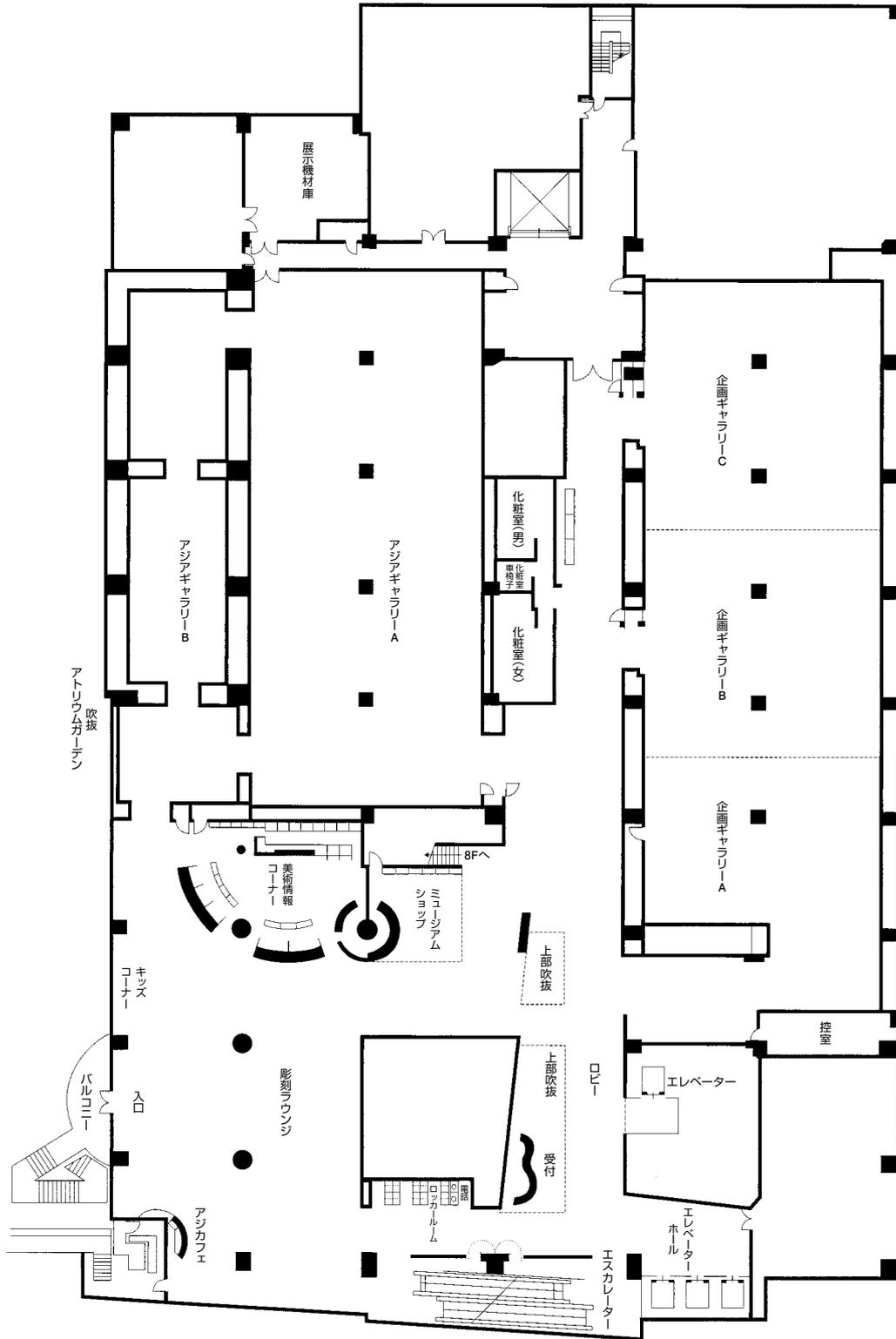
地下1階	61.69
1,2,3号EVビット	31.19
13号EVビット	30.50
1階	398.34
1,2,3号EV	47.47
13号EV	36.60
美術館ロビー	52.01
EVホール	50.97
美術館荷捌場	66.53
倉庫	11.24
搬入車路	133.52
7階	4,233.33
企画ギャラリー	1,004.58
物入(1)	8.77
控室	23.01
ロビー(2)	61.69
機械室(3)	131.18
チャンパー(機3)	28.43
EVホール	47.36
階段	19.43
荷捌室	110.95
通路	335.79
便所前室	12.05
便所(客・男)	22.40
便所(客・女)	31.84
便所(客・車)	5.84
ロビー(2)	214.10
展示機材庫	56.55
チャンパー	23.38
裏通路	37.40
M7F機械室	59.40
機械室(2)	92.33
アジアギャラリー	1,110.56
ミュージアムショップ	77.60
商品倉庫	20.38
美術情報コーナー	125.52
彫刻ラウンジ	516.24
コーヒースタンド	14.39
中8階ホール	42.16
8階	4,407.69
1,2,3号EV機械室	56.11
格納庫(1)	171.00
収蔵庫(1)	152.02
準備室	87.60
交流スタジオ	223.30

8階	暗室(1)	9.90
	倉庫(1)	23.70
	交流ギャラリー	369.54
	倉庫	19.11
	機械室(1)	128.96
	前室(機1)	26.13
	階段	14.82
	格納庫(2)	17.94
	撮影室	87.30
	暗室(2)	6.50
	便所(男・女)	7.02
	荷捌室	167.84
	警備室	14.85
	倉庫(2)	30.80
	あじびホール	159.53
	前室(あじび)	7.35
	前室(あじび)	5.39
	調整映写室	23.50
	ロビー	360.43
	収蔵庫(2)	252.27
	前室(収蔵2)	11.10
	機械室(4)	25.32
	映像資料室	35.20
	AVステーション室	52.49
	資料カード室	40.45
	学芸図書室	119.84
	図書閲覧室	44.14
	階段室	13.42
	便所(客・男)	18.44
	便所(客・女)	23.74
	便所(客・車)	6.77
	医務室	6.73
	授乳室	14.74
	便所(職・男)	17.54
	便所(職・女)	16.41
	女子ロッカー	14.24
	男子ロッカー	11.44
	給湯室	6.85
	物品倉庫	32.00
	印刷室	13.87
	監視員控室	30.88
	ボランティア室	45.95
	ミーティングルーム	41.02
	機械室(2)	22.87
	機械室(3)	144.90
	チャンパー(機3)	20.21
	倉庫(3)	22.20
	招待者用研究室(1)	32.76
	招待者用研究室(2)	32.79
	招待者用研究室(3)	32.79
	倉庫(4)	9.88
	会議室	122.63
	学芸研究室	81.75
	学芸・管理課	245.27
	館長室	41.48
	前室(館長)	8.53
	顧問室	30.33
	応接室	35.92
	休憩室	21.59
	脱衣室	7.70
	シャワー室	2.00
	通路	135.81
	廊下	290.79
合 計		9,101.05

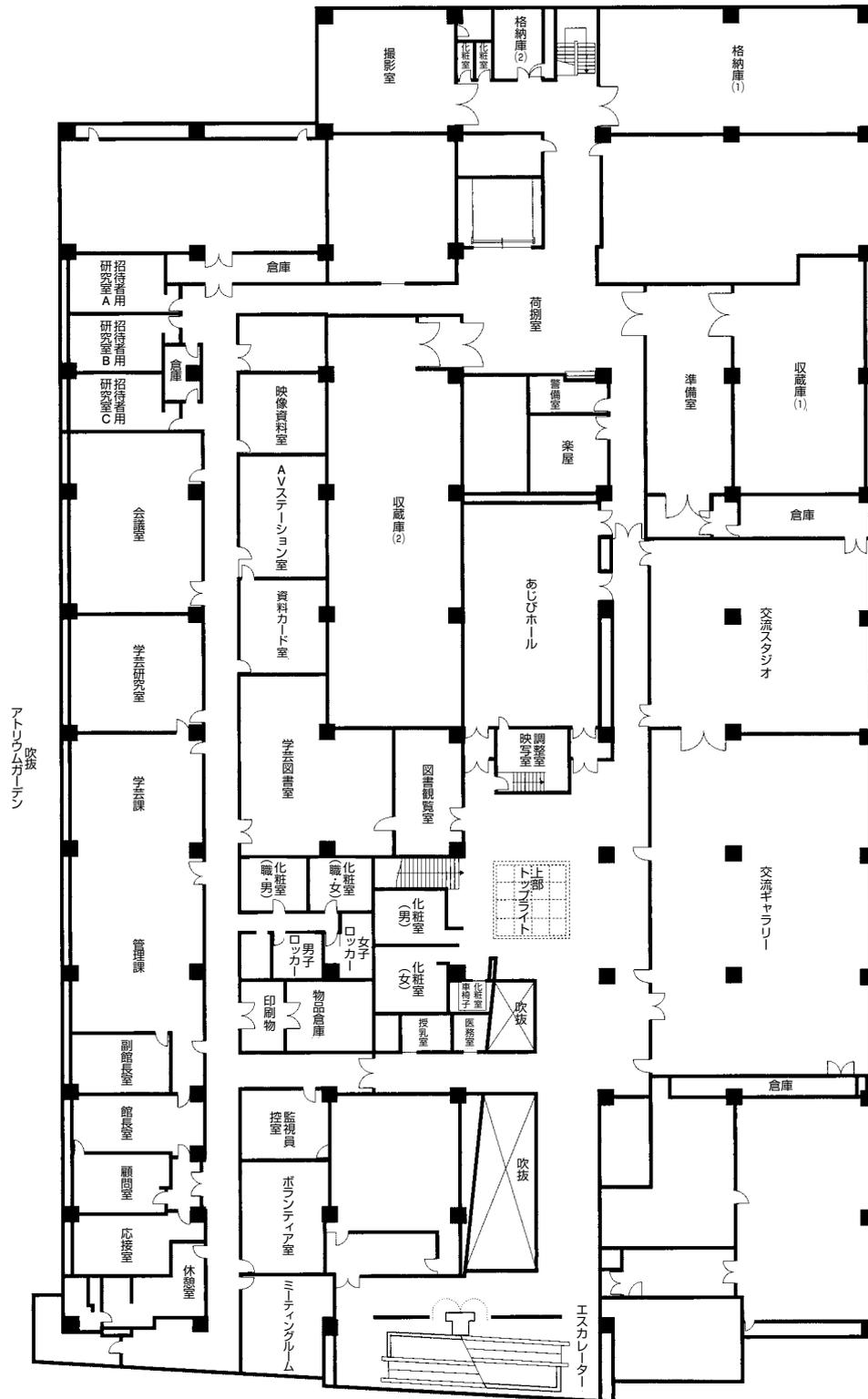
1F



7F



8F



吹抜
アトリウムガーデン

4 沿革

平成 4年(1992) 6月	市長がアジア近代美術館の建設意向を表明
平成 5年(1993) 7月	アジア美術館整備構想委員会の設置、開催(答申までに2回開催)
平成 7年(1995) 2月	アジア美術館整備構想委員会の答申 市長が下川端市街地再開発ビルでの設置を表明
平成 7年(1995) 3月	第1回アジア美術館建設専門委員会開催(開館までに7回開催)
平成 7年(1995) 4月	平成7年度当初予算に調査費を計上、福岡市美術館内に建設担当課の設置(1課2係4人)
平成 7年(1995) 11月	基本方針決定
平成 7年(1995) 12月	下川端地区市街地再開発組合と保留床売買に関する覚書を締結
平成 7年(1995) 12月	美術館用建物取得。一般会計補正予算、福岡市議会で原案可決
平成 8年(1996) 1月	下川端地区市街地再開発ビル起工
平成 8年(1996) 2月	第1回アジア美術館市民懇談会開催(開館までに5回開催)
平成 8年(1996) 3月	下川端地区市街地再開発組合と保留床売買契約書を締結
平成 8年(1996) 4月	建設担当課の増員(1課2係5人、参与及び担当部長の兼務発令)
平成 8年(1996) 8月	第1回アジア美術館資料収集審査会開催(開館までに4回開催)
平成 9年(1997) 3月	土地共有持分移転登記
平成 9年(1997) 4月	建設担当課の設置(2課3係8人)
平成 9年(1997) 7月	開館記念展「第1回福岡トリエンナーレ」(正式名称:第1回福岡アジア美術トリエンナーレ1999[第5回アジア美術展])実行委員会設立総会
平成10年(1998) 2月	正式館名を公募。「福岡アジア美術館」に決定 (応募件数4,079点[2,775人])
平成10年(1998) 2月	開館記念展の国際協力者会議開催
平成10年(1998) 9月	福岡アジア美術館条例制定
平成10年(1998) 10月	建設工事完了 竣工検査
平成10年(1998) 12月	建築物引渡し
平成11年(1999) 1月	福岡アジア美術館へ組織変更 (館長以下2課3係12人[嘱託5人]体制)、美術館へ事務所移転
平成11年(1999) 2月	建築物登記
平成11年(1999) 3月 1日	博多リバレイン竣工式
平成11年(1999) 3月 3日	福岡アジア美術館開館記念式典
平成11年(1999) 3月 6日 ~6月 6日	福岡アジア美術館開館、博多リバレイン開業 開館記念展「第1回福岡アジア美術トリエンナーレ」開催
平成11年(1999) 5月	収蔵品を福岡市美術館から移転
平成11年(1999) 6月	収蔵品展示の開始
平成14年(2002) 3月21日	「第2回福岡アジア美術トリエンナーレ」開催(6月23日まで)
平成15年(2003) 5月27日	観覧者100万人達成
平成17年(2005) 9月17日	「第3回福岡アジア美術トリエンナーレ」開催(11月27日まで)
平成18年(2006) 3月20日	第3回アサヒビール文化芸術財団芸術賞受賞
平成19年(2007) 9月 6日	観覧者200万人達成
平成21年(2009) 9月 5日	「第4回福岡アジア美術トリエンナーレ」開催(11月23日まで)
平成22年(2010) 1月19日	平成21年度地域創造大賞(総務大臣賞)受賞
平成23年(2011) 1月24日	観覧者300万人達成

名簿

福岡アジア美術館美術資料収集審査会委員

水 沢 勉	神奈川県立近代美術館長
後 小 路 雅 弘	九州大学大学院人文科学研究院教授
後 藤 新 治	西南学院大学教授
ソポーン・ロドポーン	チェンマイ大学美術学部准教授(タイ)

福岡市美術館協議会委員(福岡アジア美術館を含む)

会 長	錦 織 亮 介	北九州市立大学名誉教授
副 会 長	濱 砂 圭 子	(株)フラウ代表取締役社長
委 員	石 川 正 知	財団法人福岡文化財団専務理事事務局長
//	後 小 路 雅 弘	九州大学大学院人文科学研究院教授
//	梅 崎 薫	福岡市立花畑中学校校長
//	京 谷 啓 徳	九州大学大学院人文科学研究院准教授
//	後 藤 新 治	西南学院大学国際文化学部教授
//	辻 芳 子	福岡市社会教育委員
//	松 田 瑞 恵	福岡市PTA協議会副会長
//	藤 本 昌 代	社団法人 福岡市老人クラブ連合会理事
//	古 田 秀 人	福岡市立那珂小学校校長
//	古 野 靖 弘	社団法人 福岡県美術協会監事
//	松 尾 孝 司	西日本新聞報道センター都市圏総局記者
//	室 岡 祐 司	(株)JTB九州地域活性化事業推進室室長
//	山 田 彰	福岡市美術展運営委員
//	米 丸 政 文	福岡西陵高等学校校長
//	龍 秀 美	秀巧社印刷(株)外国語チームチーフディレクター
//	渡 邊 敬 一	福岡市青少年団体連絡会議理事

福岡アジア美術館美術交流事業招聘者選考会

釜 堀 文 孝	九州産業大学芸術学部長
藤 原 恵 洋	九州大学大学院芸術工学研究員教授
松 尾 孝 司	西日本新聞社編集局報道センター 都市圏総局記者
古 田 秀 人	福岡市図画工作科研究委員会委員長・那珂小学校校長
宮 本 初 音	ART BASE 88代表 インディペンデント・キュレーター

福岡アジア美術館職員

館長	木下	晴夫
顧問	安永	幸一
副館長	中嶋	恒生
管理課長	五郎丸	保
管理係長	小林	正和
事務職員	川野	寛
事務職員	星加	沙織
事務職員	中島	和彦
囑託員	倉光	東昭
囑託員	赤星	文子
学芸課長	黒田	雷児
収集展示係長	ラウンチャイクン	寿子
学芸員	金子	裕子
学芸員	五十嵐	理奈
交流係長	松浦	仁
学芸員	中尾	智路
囑託員	古川	勝敏
囑託員	蒲池	昌江
囑託員	大野	和則
囑託員	堀川	理沙

発行 2012年8月31日
福岡アジア美術館
福岡市博多区下川端町3-1リバレインセンタービル7・8階
<http://faam.city.fukuoka.lg.jp>
デザイン 洲上印刷株式会社
印刷 洲上印刷株式会社
著作権 福岡アジア美術館
2012年(禁無断転載)



この紙は地球環境保護のため、
再生紙を使用しています。

